

令和6年度 事業報告書

(事業年度 令和6年4月1日 ~ 令和7年3月31日)



香 蘭

学校法人 山内学園

祈りつゝ育てしまこと

あらわれて

気高く香る初咲きの蘭

昭和三十五年短大一期生卒業式一首

初代学長 山内良子先生著

目 次

■法人の概要・設置学校・建学の精神	1～2P
■学園沿革・歴代理事長	3P
■法人の組織構成図	4P
■役員・評議員	5P
・名簿、役員賠償責任保険契約等の状況	
■学生（生徒・園児）・職員現員	6P
■令和6年度事業の概要	7～9P
■香蘭女子短期大学の教育活動	10～19P
①3つのポリシー	
②ディプロマ・ポリシーのアセスメント	
③学生生活満足度調査結果	
■香蘭女子短期大学の研究活動	20P
■令和6年度地域連携取組状況	21～23P
■令和6年度卒業生（短期大学・専門学校）進路状況	24P
■人事について	25～27P
■施設・設備等について	28～29P
■令和6年度決算の概要	30～31P
■資金収支計算書・活動区分資金収支計算書	
・事業活動収支計算書	32P
■貸借対照表	33P
■その他の財務状況	34P
・有価証券、借入金、学校債、寄附金、補助金 関連当事者等との取引、学校法人間財務取引	
■財産目録	35P
■計算書等経年比較（令和2年度～令和6年度）	36～39P
■経営状況の分析、今後の方針等	40P
■監査報告書	41P

法人の概要



法人名: 学校法人 山内学園 (昭和23年2月 法人設置認可)

理事長: 坂 根 康 秀

所在地: 〒811-1311 福岡市南区横手1丁目2番1号

電 話: (092)581-1538 FAX: (092)581-2200

H P: <http://koran.ac.jp/>

設置学校



香蘭女子短期大学

〒811-1311 福岡市南区横手1丁目2番1号

学長 坂 根 康 秀

設置学科: ファッション総合学科・食物栄養学科・保育学科・ライフプランニング総合学科
(テクニカル専攻科 1年課程)

電 話: (092)581-1538 FAX: (092)581-2200

H P: <http://koran.ac.jp/>



香蘭ファッションデザイン専門学校

〒810-0074 福岡市中央区大手門2丁目10番5号

校長 深 田 勝 久

設置学科: ファッションデザイン専攻科(3年課程)・ファッションデザイン科(2年課程)
ファッションテクニカル科(2年課程)・ファッションビジネス科(2年課程)

電 話: (092)751-1331 FAX: (092)741-0688

H P: <http://koran.jp/>



香蘭女子短期大学附属 香蘭幼稚園

〒811-1311 福岡市南区横手1丁目12番35号

園長 坂 根 康 秀

定員: 300名 3年保育 2歳児・満3歳児保育 預り保育あり

電 話: (092)571-3441 FAX: (092)513-1813

H P: <http://kourankid.com/>



幼保連携型認定こども園(平成30年4月より移行)
香蘭女子短期大学附属 那珂川第一幼稚園

〒811-1251 那珂川市松木5丁目1番1号

園長 馬場 祐子

定員: 225名 幼稚園部(1号)・保育園部(2号・3号)

電話: (092)953-1135 FAX: (092)953-3848

H P: <http://www.nakagawadai1.com>



香蘭女子短期大学附属 那珂川第二幼稚園

〒811-1252 那珂川市五郎丸3丁目17番1号

園長 峯田 功子

定員: 180名 3年保育 預かり保育あり

電話: (092)953-0222 FAX: (092)953-0222

H P: <http://www.nakagawadai2.com>

(姉妹法人設置保育園)



社会福祉法人 香蘭育成会 しおばる保育園

〒815-0032 福岡市南区塩原3丁目26番19号

理事長 坂根 康秀

園長 長谷川 明美

定員 120名

電話: (092)554-1188 FAX: (092)554-1288

H P: <http://www.shiobaruhoikuen.com>

建学の精神

「いかなる困難な場にあっても、創意・工夫を大切にし、

人を愛し、人から愛される自立した女性の育成」

学園沿革

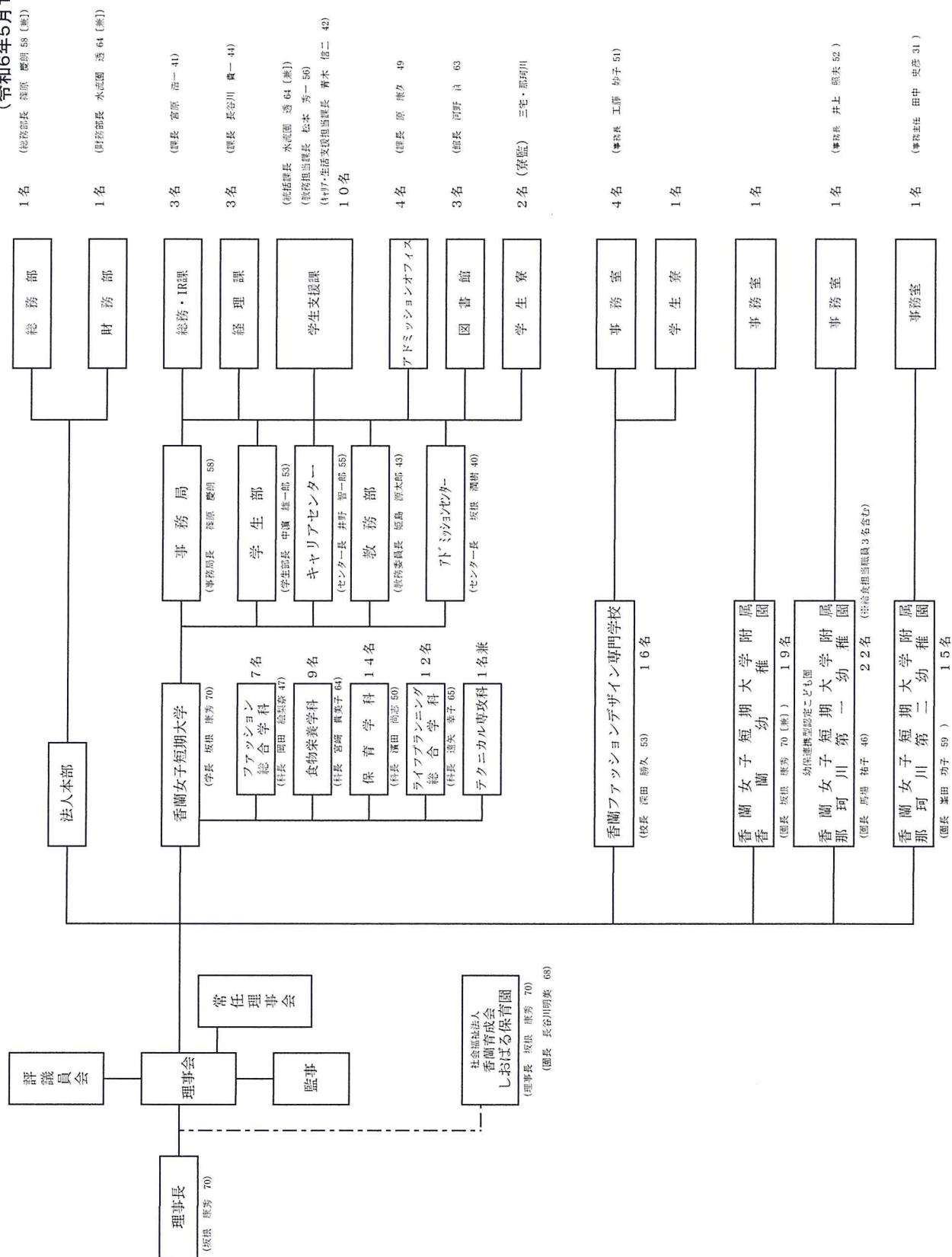
昭和	10年 5月	レディードレス香蘭女学院開学
	21年 9月	香蘭女学院設立認可(個人立)
	26年 3月	財団法人レディードレス香蘭女学院から準学校法人香蘭女学園へ組織変更
	33年 1月	学校法人山内学園へ組織変更認可、香蘭女子短期大学被服科設置認可
	36年 8月	創設者 山内良子逝去
	38年 4月	短期大学に家政科増設(井尻校舎)
	40年 4月	短期大学に保育科増設(井尻校舎)、被服科二部増設(大手門校舎)
	42年 4月	短期大学附属幼稚園(現香蘭幼稚園)開園
	47年 4月	被服科を井尻校舎へ移転し、短期大学を同一校地へまとめる
	50年10月	被服科2部廃止、法人本部を中央区大手門から南区横手へ移転
	51年 9月	香蘭女学院を専修学校に組織変更し、専門学校香蘭女学院に名称変更
	58年 4月	短期大学に秘書科増設
	62年 4月	短期大学に国際教養科増設
	63年12月	学)啓徳学園を吸収合併認可、香蘭女子短期大学附属那珂川第一幼稚園に名称変更
平成	元年 4月	香蘭女学院を香蘭ファッションデザイン専門学校に名称変更
	10年 8月	専門学校の高等課程を廃止
	11年 4月	香蘭女子短期大学附属那珂川第二幼稚園設置
	15年 4月	家政科家政専攻、秘書科、国際教養科を改組転換し、ライフプランニング総合学科を設置
	"	被服科を被服学科へ、保育科を保育学科へ名称変更
	"	短期大学の家政科専攻分離を廃止し、家政科を食物栄養学科に名称変更
	16年 3月	秘書科、国際教養科廃止
	17年 4月	那珂川第一幼稚園 園舎移転(王塚台から松木)
	18年 4月	附属幼稚園園舎を新築移転し、附属香蘭幼稚園に名称変更
	20年 4月	短期大学の被服学科をファッション総合学科へ名称変更
	21年 4月	専門学校のスタイリスト科を廃止、ファッションデザイン専攻科、ファッションデザイン科、ファッションテクニカル科、ファッションビジネス科へそれぞれ名称変更
	22年 4月	短期大学にテクニカル専攻科(1年)を設置
	26年 4月	専門学校が職業実践専門課程の文科省認定を受ける
	30年 4月	那珂川第一幼稚園を幼保連携型認定こども園に移行
令和	6年 4月	那珂川第二幼稚園を施設型給付園に移行

歴代理事長

初代	山内良子	昭和33年 1月 ~ 昭和36年 8月
第二代	家永豊太	昭和36年11月 ~ 昭和38年 8月
第三代	坂根嘉子	昭和38年 9月 ~ 昭和53年 3月
第四代	坂根 潔	昭和53年 4月 ~ 平成 6年 3月
第五代	山内昭人	平成 6年 4月 ~ 平成20年 3月
第六代	坂根康秀	平成20年 4月 ~ 現在

法人の組織機構図

(令和6年5月1日現在)



役員・評議員

■名簿

令和6年度

区 分	常勤 非常勤	氏 名	就 任 年 月 日	任 期	選任条項
理事長	常勤	坂 根 康 秀	平成6年4月1日	R4. 4. 1～R8. 3. 31	一 学長
理 事 (定数7)	常勤 副理事長	坂 根 潤 樹	平成30年4月1日		二 評議員会互選
	常勤	水流園 透	平成30年4月1日		三 法人職員・財務部長
	常勤	篠 原 慶 朗	平成30年4月1日		三 法人職員・総務部長
	非常勤	海江田 令 次	平成22年4月1日		四 功労者・学識経験者
	非常勤	船 越 俊 秀	平成26年4月1日		四 功労者・学識経験者
	非常勤	安 田 聡 剛	平成30年4月1日		四 功労者・学識経験者
監 事 (定数2)	非常勤	武 部 道 孝	平成18年4月1日	R4. 4. 1～R8. 3. 31	理事会選任
	非常勤	矢ノ浦 慎 祐	令和4年4月1日		理事会選任
評議員 (定数17)	常勤	坂 根 康 秀	平成2年4月1日	R6. 4. 1～R8. 3. 31	一 香蘭女子短期大学長
	常勤	深 田 勝 久	平成22年4月1日		二 香蘭FD専門学校校長
	常勤	峯 田 功 子	平成24年4月1日		三 附属幼稚園長
	常勤	馬 場 祐 子	令和6年4月1日		三 附属幼稚園長
	常勤	坂 根 潤 樹	平成26年4月1日		四 後継者
	非常勤	牧 山 順 子	令和2年4月1日		五 卒業生
	非常勤	的 野 秀 子	平成22年4月1日		五 卒業生
	非常勤	柳 幸 子	令和2年4月1日		五 卒業生
	常勤	遠 矢 幸 子	令和4年4月1日		六 法人職員
	常勤	宮 崎 貴美子	令和4年4月1日		六 法人職員
	常勤	溝 口 希弥子	平成17年4月1日		六 法人職員
	非常勤	永 野 雅 一	令和2年4月1日		七 功労者・学識経験者
	非常勤	河 野 博 行	平成29年4月1日		七 功労者・学識経験者
	非常勤	豊 崎 俊 幸	令和4年6月1日		七 功労者・学識経験者
	非常勤	船 越 俊 秀	平成24年4月1日		七 功労者・学識経験者
	非常勤	志 岐 恵 子	令和6年4月1日		七 功労者・学識経験者
	非常勤	森 永 哲 二	平成30年4月1日		七 功労者・学識経験者

■役員賠償責任保険契約等の状況

以下のとおりの内容で令和6年7月より契約（令和5年5月の理事会・評議員会にて決定）

①保険契約について

対象：理事、監事、評議員

契約の期間：令和6年7月1日～令和7年7月1日（※更新予定）

商品名：学校法人向け役員賠償責任保険（日本私立短期大学協会：三井住友海上火災保険㈱）

保険料：年間180,000円 保険金：上限：100,000,000円

内容：理事、監事、評議員を被保険者とし、保険料は全額法人が負担。被保険者がその職務の執行に起因して保険期間中に損害賠償請求された場合の損害賠償金及び争訟費用等が当該保険にて補填される。

②責任免除・責任限定契約、補償契約について

責任免除：学校法人山内学園寄附行為第49条に基づく。

責任限定契約：非業務執行理事等が職務を行うにつき善意でかつ重大な過失がないときは、本法人があらかじめ定めた額と私立学校法で準用する一般社団法人及び一般財団法人に関する法律の規定に基づく最低責任限度額のいずれか高い額を限度とする。

補償契約：本法人と役員の間においての補償契約の締結はない。

学生・園児数現員

① 学生生徒現員 ※専攻科学生数は外数、留学生は内数 (R6年5月1日現在:学校基本調査より)

学 校 名 ・ 学 科 課 程 名			令和5年度		令和6年度		前年度増減	
			入学者	在籍数	入学者	在籍数	入学者	在籍数
短期大学 ※()はR5年度の 入学定員	F A 総合学科	80	76	162	57	135	△ 19	△ 27
	食物栄養学科	60(80)	39	83	28	65	△ 11	△ 18
	保 育 学 科	80(150)	67	132	42	108	△ 25	△ 24
	L P 総合学科	130(150)	138	277	136	274	△ 2	△ 3
	合 計	350(460)	320	654	263	582	△ 57	△ 72
	定員充足率		69.6%	71.1%	75.1%	71.1%	-	-
	テクニカル専攻科	15	10	10	4	4	△ 6	△ 6
専門学校	留学生(短期含む)		20	51	26	49	6	△ 2
	合 計	160	123	279	123	283	0	4
	(男 子)		41	77	25	80	△ 16	3
	[留学生]		0	1	1	1	1	0
香 蘭 幼稚園	満 3 歳 児 未 満		15	17	25	33	10	16
	3 歳 児	100	57	97	24	65	△ 33	△ 32
	4 歳 児	100	5	81	1	93	△ 4	12
	5 歳 児	100	2	101	2	81	0	△ 20
	合 計	300	79	296	52	272	△ 27	△ 24
第一幼稚園 (認定こども園)	1号	3歳児未満	15	10	10	17	7	7
	1号	3 歳 児	45	17	31	8	△ 9	△ 9
		4 歳 児	45	2	44	2	0	△ 13
		5 歳 児	45	2	36	0	△ 2	0
	2号	3 歳 児	15	3	18	1	△ 2	△ 2
	2号	4 歳 児	15	0	16	0	0	3
		5 歳 児	15	0	22	0	0	1
	3号	0 歳 児	6	6	6	3	△ 3	△ 3
	3号	1 歳 児	9	3	12	6	3	6
		2 歳 児	15	4	16	3	△ 1	△ 2
	合 計		225	47	211	40	△ 7	△ 12
第二幼稚園	2歳児・満3歳児	15			6	6	6	6
	3 歳 児	55	50	50	46	46	△ 4	△ 4
	4 歳 児	55	3	63	6	56	3	△ 7
	5 歳 児	55	2	63	0	61	△ 2	△ 2
	合 計	180	55	176	58	169	3	△ 7
総 合 計		1,215	624	1,616	536	1,505	△ 88	△ 111

②専任教職員数

※香蘭幼稚園の未満児及び第一幼稚園の1号未満児は学校基本調査の数とは異なる。

所 属	令和5年度			令和5年度			増減	備考
	教員数	職員数	合 計	教員数	職員数	合計		
短 期 大 学	45	27	72	42	27	69	△ 3	寮監及び子どもプラザ職員2名含む
専 門 学 校	16	5	21	16	5	21	0	寮監含む
香 蘭 幼 稚 園	19	1	20	17	1	18	△ 2	園長除く
第 一 幼 稚 園	18	4	22	19	4	23	1	
第 二 幼 稚 園	14	1	15	15	1	16	1	
総 合 計	112	38	150	109	38	147	△ 3	

③しおばる保育園

※子どもプラザ職員含む(R5年度)

区分	定員	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	園児合計	教職員 (内パート)
令和5年度	120	14	23	25	25	24	24	135	42(21)
令和6年度		16	23	24	26	25	24	138	40(18)

R6年度 事業の概要

◆短期大学

1/3

事業項目	
① 海外研修の継続実施	FA学科(イギリス)、食栄(韓国)、保育(フィリピン)、LP学科(韓国)のいずれも、最小催行人数に到達せず、中止となった。
② 「短期大学コンソーシアム九州」共同事業の継続	学生アンケートは継続実施。その他の事業は実施されていない。
③ 地域連携センターの活動継続・推進	地域との連携・貢献活動として南区こども大学・南区出前講座大学版、すこやかカレッジ、高校教員向け夏季公開講座、その他一般、高校生等向けの出前講座を実施。令和5年度は90講座超を実施したが令和6年度は100講座超となった。これとは別に子どもプラザでも16講座開講した。
④ 教育改革実行計画の募集継続	学長裁量予算100万円。本学学生への教育改革(4領域)に対し経費を支出。令和6年度は以下の4件を採択。濱田教授他2名申請分:保育学科学生的那珂川市子育て事業参加、宮崎教授他7名申請分:学生の主体性や学習意欲を高める初年次教育、北原准教授申請分:学生による地域連携・産学官による保健・健康増進活動体験、中濱教授申請分:Koran Girlsと地域・企業連携事業の継続および新規事業設立準備。
⑤ 「アクティブ香蘭」の募集継続	学生の積極的な活動を応援するため、その活動に必要な資金を援助する制度の継続。令和6年度は3件(食物栄養学科学生による「子ども食堂の運営と食育活動」、FA学科学生による「服飾作品の販売と香蘭女子短期大学の広報を行いながら実践的にファッションビジネスを学ぶ」・「福岡アイドル大变身!もっと魅力を伝えまSHOW!!(アイドル衣装制作)」が採択された。
⑥ KORAN REDWEEKの実施	令和3年度より始まった短大のスクールカラーの認知度を向上させる取組の継続。令和6年5月20日から5月24日に実施され、レッドコーデの日、食堂とのコラボ、園児と行うTシャツ染めなどの学科による様々な企画が行われた。
⑦ 授業評価・教職員評価顕彰制度の継続	学生の授業評価・教職員の評価等で教職員を顕彰する事業の継続実施。
⑧ 公開授業の継続	専任・非常勤教員の授業公開。令和3年度はコロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施を見送ったが令和4年度より再開した。
⑨ インターンシップの新規事業開始	例年、春季・夏季・後期に分け説明会を行い、学生の希望企業(分野)とのマッチングを行い実施。売り手市場の影響もあり、企業も積極的に受け入れを行っている。
⑩ 留学生の計画的受け入れの継続	令和5年度は26名の入学だったが、令和6年度は微減し、23名の入学に留まった。LP学科は募集定員を満たしているため、FA学科の入学者をもう少し増やす必要がある。
⑪ 釜山保健大学校(旧:東洲大学)の留学生受け入れ継続	コロナ禍で令和2年度から中止していた姉妹校からの留学生受け入れを令和5年度より再開。令和6年度は2名を受け入れた。
⑫ 大連工業大学(中華人民共和国)との教育提携事業の再開	2019年3月に教育連携協定締結。過去「大連国際服装紡績品博覧会」への学生参加・出展を行っていたがコロナウイルスの影響により中止していた。令和7年度より海外研修として実施するため、学科教員による視察を行った。
⑬ 高大連携事業の継続	博多工業高等学校、香椎高等学校との高大連携事業の継続実施。
⑭ 高等教育修学支援新制度の運用継続	令和2年度より運用開始。授業料減免と給付型奨学金の支給がセットで行われる。令和6年度より制度の拡張があり第4区分が設けられた。令和6年度は前期99名、後期91名と前年度前期121名、後期116名から減少した。利用者の割合は令和5年度は20.9%に対し、令和6年度は20.6%と横ばいとなった。学生数の減少もあり利用者数は減少傾向である。
⑮ 学生募集体制の強化	アドミッションオフィスの人員を1名増員し、高校訪問等の出張環境を整えた。また、18高校(うち県外5校)と連携協定を締結し、連携校からの入学生に対しての入学料免除の奨学金規程を整備した。連携協定の締結が7月までかかったため、募集効果は限定的であったが、令和8年度募集に向け、制度の周知を図った。

R6年度 事業の概要

◆短期大学(続き)

2/3

事業項目	事業の概要
⑯ 南区子どもプラザの運営継続	福岡市から委託された南区子どもプラザ(南市民センター内:こうらん子どもプラザ)の委託運営の継続。
⑰ 教職員の働き方改革	原則として日曜・祝日の閉門を行い、教職員の休日をしっかりと確保した。

◆専門学校

事業項目	事業の概要
① 本校舎外壁改修工事	令和6年4月より工事を開始し、7月末日に改修を終えた。
② 実習室の整備(ミシンの入れ替え等)	工業用ミシン(18台)及び本館3・4階実習室のワークテーブル(50台)の入れ替えを行った。
③ 大手門寮入口監視カメラの設置	防犯対策として監視カメラ2台を取り付けた。
④ 夏季クリエイション・ショーの開催	7月21日・8月25日の体験入学・学校説明会開催時に入学生確保につながるよう「KORAN COLLECTION」と題し、アーカイブファッションショーを学内で実施。
⑤ 卒業記念展・進級作品展の開催	2/11に福岡ファッションビルにて卒業記念展を開催。総体数169点を一同に発表した。学校説明会も同時開催。
⑥ キャリアガイダンスの実施(アパレル企業説明会の開催)	全学生を対象とした合同企業説明会を4月23日に実施。今年度は販売系、技術系合わせて40の企業に参加いただいた。また、年間を通して定期的に就職セミナーを実施し、学生の就職意識向上を図った。
⑦ 各科学外研修及び、海外研修	海外研修はイタリア及び韓国での研修を企画したが、両研修とも催行人員に到達せず中止となった。4月26日に全学的に「学科交流会」を実施し、美術館・海の中道等を訪問。その他、学科学年ごとに博多座鑑賞、博多織見学などの国内研修を実施した。
⑧ 各種イベント・企画への参加	学校の知名度向上を掲げ、地場行政活動やその他企業からのイベントの誘致にフレキシブルに対応していけるよう衣装提供を中心に、どんたくステージ、久留米緋、手づくりフェア、ECOファッション、障がい者週間ファッションショー、福岡天神Beauty Collection、などに衣装提供し、学校名、学生作品の露出に努めた。
⑨ 積極的に全国規模コンテストにエントリー	名古屋ファッションコンテスト2024:奨励賞。第24回YKKファスニングアワード:入選。第3回ReClothes Cup:入賞。第13回デコリメイクチャレンジ展大:市長賞。FBアワード2024:優秀賞。スタイリングアワード2023A/Wオンラインコンテスト:優秀賞。第40回全国服飾学校ファッション画コンクール:文部科学大臣賞。VANFU DESIGN CONTEST 第15回学生Tシャツデザインコンテスト:審査員賞。第2回ファッションスクールアワード敢闘賞。第99回装苑賞最終審査通過2名。
⑩ ファッション業界トレンドセミナー実施	WWDトレンドセミナー(村上編集長登壇)。株式会社マナマナ素材セミナー。
⑪ 同窓会・学友会の発展	令和5年度に再開した同窓会総会を引き続き実施。学友会は学生自身が組織の運営を通して社会を学べる機会であり、主に文化祭の実行委員会がその主たる目的だが、学校の広報にも積極的に携わるように、総務会を機会に全体運営を整備している。
⑫ 3DCADの授業開始	専攻科及び希望者対象に授業を本格的に始動。これからのファッション業界で必要とされつつある、3D CAD(CLO)のオペレーターの育成を目的としている。
⑬ 夏期講習会の実施	7月に「3DCAD」の講習を、8月に「イラストレーション講座」を実施予定だったが、3DCADは催行人数に達せず、またイラストレーションは九州地方への台風の影響も重なり、安全を期すため中止とした。次年度はニーズに合った内容に変更する。

R6年度 事業の概要

◆専門学校(続き)

3/3

事業項目		事業の概要
⑭	高等教育修学支援新制度の運用継続	令和2年度より運用開始。授業料減免と給付型奨学金の支給がセットで行われる。令和6年度より制度の拡張があり第4区分が設けられた。令和6年度は前期58名、後期52名と前年度前期64名、後期60名から減少した。利用者の割合は令和5年度は24.5%に対し、令和6年度は20.6%と利用割合も減少した。
⑮	職業実践専門課程の実施	全学科、職業実践専門課程認定であるため、認定条件を守るため企業と連携してカリキュラム整備と人材育成を進めている。そのため、学校評価、カリキュラム編成委員会を定期的に開いており、今年度は11月に「第一回教育課程編成委員会」と「学校関係者評価」を、3月に「第二回教育課程編成委員会」を実施した。
⑯	危機管理マニュアルの作成	危険等が発生した際に教職員が円滑かつ的確な対応を図るため、学校保健安全法に基づき、マニュアルを作成した。
⑰	LED化工事	全館LED化工事を令和6年12月より開始し、令和7年3月に完了した。

◆附属幼稚園

事業項目		事業の概要
①	処遇改善手当の支給	計画通り、月額12,000円～22,000円程度の処遇改善手当を教諭、保育教諭に支給した。
②	保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業及び教育支援体制整備費補助金(幼稚園の教育体制支援事業)にかかる新たな処遇改善の実施	計画通り、月額9,000円～15,000円程度の手当を①の処遇改善に加え教諭、保育教諭に特例改善手当として支給した。
③	那珂川第二幼稚園の施設型給付園への移行初年度	令和6年4月より施設型給付園として運営を開始した。「幼稚園で遊ぼう0.1」と称した0歳からの保育を行ったり、保護者向けの講座や園庭開放日を多く設けるなどして、園児募集を強化している。
④	各種研修会への参加	しおばる保育園を含めた4園合同研修会を7月に実施。各種団体が主催する研修へは、適宜参加した。
⑤	任意参加の園児向け各種教室の実施	スポーツ(体操、水泳)、英会話教室等の園児向けのプログラムを継続し実施。

◆法人本部

事業項目		事業の概要
①	私立学校法改正に伴う寄附行為の変更認可申請	私立学校法改正「2025(令和7)年4月施行」に向け、寄附行為の変更認可申請を行い、令和7年3月に無事認可された。
②	私学法改正にあわせた新体制の検討	私学法改正(寄附行為の変更)にあわせた理事会・評議員会の運営体制を理事会、評議員会で検討し、周辺規程の整備を行った。
③	役員賠償責任保険への加入	改正私立学校法(令和2年)に基づく役員の学校法人に対する責任(善管注意義務等)負担が明確になったことに対し、訴訟・賠償リスクへの備えのため、令和3年7月に加入した保険の継続加入を行った。賠償額の上限は前年に引き続き、1億円のプランに加入した。
④	幼児教育・保育部門担当者会議の立ち上げ及び運営	法人理事と3附属幼稚園、しおばる保育園の管理職及び短大保育学科の一部教員及び経理担当者で組織し、年2回の会議を開催。各園の取り組み状況や様々な情報を共有、また、保育学科教員による専門講座を受講することで、保育の充実、園児募集の強化を目指している。

香蘭女子短期大学の教育活動

①香蘭女子短期大学 3 つのポリシー

【学位授与の方針（ディプロマポリシー）】

建学の精神から導かれた「創意・自立・敬愛」の学訓を基に、専門知識と技能及び社会人としての基礎能力を身につけ、所定の単位を修得し、各学科が定めたディプロマポリシーを満たした人に卒業を認定し、短期大学士の学位を授与する。

【教育課程編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）】

「創意・自立・敬愛」の学訓の精神を涵養し、専門知識および技能を身につける。学訓の精神は教養科目と専門科目に渡って涵養する。履修した授業科目の学習成果は、筆記試験、レポート、実技、作品、またはこれらの組み合わせにより評価・査定する。

【入学者受け入れの方針（アドミッションポリシー）】

本学の学訓が「創意・自立・敬愛」であることを十分に理解したうえで、入学後、本学の学生としての教養と専門知識および技能を身につける意欲がある人の入学を求める。

《学科の教育目的・目標、3つのポリシー》

■ファッション総合学科

【教育目的・目標】

- ☐ ファッション業界で活躍できる技術力を養う。
- ☐ 総合的なファッション知識を深める。
- ☐ ファッション教育を通して人間力を育成する。

【入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）】

- 1 入学後の就学に必要な基礎学力を有している人
- 2 自らの感性と、その技術を高める意欲のある人
- 3 服飾造形やファッションビジネスに関心があり、ファッションのことをもっと広く・深く学び、その知識や技術を社会や産業界で活かしたいと考えている人
- 4 何事もおきらめずに努力し、自己の可能性に挑戦する意欲のある人
- 5 地域社会とのかかわりに積極的に参加し取り組むことができる人

【卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

- 1 知識、理解
 - ①一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。
 - ②ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。
 - ③服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。
- 2 技能、表現
 - ①ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。
 - ②ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。

③修得した知識や技術を総合的に活用することができる。

3 人間力、態度

①専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力（社会人になるためのマナー、コミュニケーション能力、忍耐力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）を有している。

【教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）】

1 共通基礎教育

①豊かな人間形成のための基礎力と基礎的な学力を身につけるための科目を全学期（1期～8期）で開講し、専門科目とのバランスを図る。

②初年次教育として1、2期では、2年間の目標と計画を立て、短期大学での学習方法やレポートの書き方を学ぶ。また、チームワークや教員とのコミュニケーションを図る。

2 専門教育

①ファッションの職種の広がりに対応するために、4つのフィールド（デザイン、ファッション造形、ファッションビジネス、生活スタイリング）の中から、将来のなりたい職種に必要な科目をそれぞれ選択できる。

②多様な職種にも対応できる知識、技能、態度および考え方の総合的能力を身につける。

③アパレルメーカーに必要な実践的能力を身につける。

④学生が自主的に学ぶ科目として「特別演習」を設ける。

⑤専門的な知識と技術を身につけ、2年間の学びの集大成となる卒業制作または卒業論文を完成させる。

3 キャリア教育

入学後の早い時期から最終期（2期～8期）まで現場で学ぶインターンシップを経験させるとともに、「総合演習」の中で学科独自の就職支援講座を充実させ、就労意識を高めるための体系的なキャリア教育を行う。

■食物栄養学科

【教育目的・目標】

□栄養士が果たすべき専門職務や立場を十分に理解させる。

□栄養士に必要とされる知識、技能、態度および考え方の総合的能力を養う。

□栄養の指導や給食の運営を行うために必要な実践的能力を養う。

□食と健康の専門科目の学習を通して、自活力や生活力を兼ね備えた社会に貢献できる教養ある人を育成する。

【入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）】

1 栄養士の仕事を通して社会に貢献したい人

2 「食」に興味があり、栄養士の仕事との関わり合いが深い食生活の改善や健康・増進と、併せ調理技術向上を目指したい人

3 現実社会で生き抜くための基礎的なマナーが身についており、規則正しいライフスタイルが確立されている人

- 4 食生活の偏りに起因する生活習慣病に対して、栄養士として問題を積極的に解決しようとする志を抱いている人

【卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

- 1 栄養と健康の関係、栄養素と食品の関係、食の安全、食料資源の確保、食料を食べ物に変える加工（調理を含む）および貯蔵の原理・技能、食生活の歴史などに関する知識と理解によって、望ましい食生活の実践につながる視点で説明することができる。
- 2 栄養に関する知識を持ち、食事管理や食事指導に携わることのできる能力およびマナーやコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力が身についている。
- 3 食・栄養・健康に関する実践的・体験的な学習をすることで、栄養士としての知識を具現化する技術を身につけ、体験を通して生活の場での実践意欲を持つことができる。
- 4 現実社会の各種の多様な情報を客観的に理解し、適切に判断することができるとともに、情報ツールを使いこなして食事管理や食事指導に有効に活用することができる。
- 5 社会人として、いかなる困難に直面しても創意・工夫を大切に、人を愛し、人から愛される自立した女性としての立ち振る舞いができる。

【教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）】

- 1 初年次教育は、総合演習およびキャリアアップセミナーにおいて、食物栄養学科学生として学生生活を有意義に過ごすための必要不可欠な基礎的知識を身につける。
- 2 栄養士に必要な専門科目の学習を通して、知識・技能・態度と、併せて調理技術向上を目指した基礎的な能力を身につける。
- 3 栄養指導や給食の運営を行うために必要な実践的・体験的な学習を通して、栄養士としての実践的能力を身につける。
- 4 栄養と食に関する様々な専門知識を広く家族・地域・社会に伝え、食生活の改善に貢献できる学生を、栄養士法施行規則にのっとり育てる。
- 5 本学の教育理念を踏まえて、常に栄養士としてのプロ意識を保持しつつ、日々自分自身がスキルアップできる学生を、栄養士法施行規則にのっとり育てる。

■保育学科

【教育目的・目標】

3つの心を育む。

□自己の成長を願う心。□他者の成長を喜ぶ心。□社会の役に立つことを願う心。

4つの感性を涵養する。

□学びの感性＝学びに対する意欲を持つ。□交流の感性＝積極的に人と交流できる力を持つ。

□情報の感性＝必要な情報を収集できる力を持つ。□仕事の感性＝仕事への情熱と誇りを持つ。

【入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）】

- 1 子どもが育つことに興味を持っている人
- 2 さまざまなことに率先して取り組むことができる積極的な構えを持っている人
- 3 保育者としての信念と誇りを持てる人
- 4 自分を大切に生き生きと行動できる人

【卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

- 1 さまざまな保育現場において実践家として活躍できる保育者
- 2 そのために必要な専門的な知識・技能と、それを支える基礎となる「保育者としてふさわしい人間性」を持った保育者

【教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）】

- 1 専門教育保育者として必要な専門性を身につけるため、カリキュラムは「理論」「実技・技能」「演習」の3本柱とし、これらをバランスよく往還的に学んでいく。実践家として活躍できる力を身につけるため、あそびと教材研究等を学び、「実習」「保育・教職実践演習（幼稚園）」において総合的に学ぶ。
- 2 教養教育自らの関心や特性をもとに科目を履修し、保育者としてのさらなる成長に必要な教養を身につけ深めていく。
- 3 初年次教育主体的に学ぶ姿勢を身につけるため、オリエンテーションならびに総合演習において、短期大学における学習のあり方と心構えについて学ぶ。保育者を目指すクラスメートと共に学ぶ風土を形成し、保育士資格・幼稚園教諭免許の2つの資格免許取得を目標とする心構えを持つ。
- 4 キャリア教育オリエンテーションならびに総合演習において、学年集会やクラスミーティング、OG懇談会、自主実習等を通し、社会人としての心構えや基本マナー、保育現場の実際、専門就職の方法について学ぶ。アドバイザーを始めとする学科教職員とのキャリア指導の中で具体的な学びを行う。
- 5 教科外学習社会人として必要なコミュニケーション力、組織におけるリーダーシップ・フォローシップ、現場における協働力を身につけるべく、学校・学科行事、サークル活動を体験する。
- 6 学園生活毎日の授業や学生生活の中で、教員やクラスメートとの交流を通し、「保育者としてふさわしい人間性」を身につける。

■ライフプランニング総合学科

【教育目的・目標】

- 自己をよりよく知ると同時に、他者との関係において自らの適性を見出し、豊かな未来の設計図（ライフプランニング）を描ける人材を育成する。
- 地域の歴史や産業との関わりを理解し、地域で活躍するための知識や技能を磨き、様々な状況に応じてコミュニケーション力を発揮できる人材を育成する。
- 多様な分野の学習から得られる幅広い教養をもとに、確固とした人生観を形成し、自らのキャリアについて認識を深め、社会において有益な情報を発信できる人材を育成する。

【入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）】

- 1 本学の学訓と教育目標を理解し、その実践への意欲を持つ人
- 2 学科の仕組みを理解し、4学期制での学習に勤しむ人
- 3 選んだ専攻で専門科目を学び、知識と技能の向上を目指す人
- 4 多くの人と関わり、社会についての見識を深めたい人

【卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

- 1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する。

- 2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている。
- 3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる。
- 4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる。
- 5 生涯学習に資する習慣を確立している。

【教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）】

- 1 初年次教育の一環として、基礎科目・総合演習において、本学の仕組み、学習方法、資料調査方法、チームでの作業などを学ぶ。
- 2 選択したメジャーにおいて、専門的な知識や技能を学ぶ。
- 3 情報リテラシーとメディアリテラシーで、ITの知識と技能及びプレゼンテーションの方法を学ぶ。
- 4 地域での活動、就業体験、短期留学、検定取得などができるように学期を配置している。
- 5 基礎科目・総合演習や学科行事において、キャリア教育を実施する。就職についての意識を醸成すると同時に、実際の活動に必要な知識を学ぶ。また、早期退職防止のために社会人としてのマナーや企業文化も学ぶ。
- 6 多くの教養科目や選択科目を学ぶことができる。
- 7 学生が主体的に関わる授業を行う。

②ディプロマ・ポリシーのアセスメント

■令和6年度卒業生

※（ ）は留学生、内数

学科名	入学者	卒認対象者	卒業生	卒業率
ファッション総合	79 (2)	68 (2)	64 (2)	94.1%
食物栄養	39	32	30	93.8%
保 育	68	62	59	95.2%
ライフプランニング 総合	138 (18)	126 (17)	126 (17)	100.0%
合計	324 (20)	288 (19)	279 (19)	96.9%

【免許・資格取得率】

○食物栄養学科

名称	取得者数	取得率
栄養士免許	32 名中 28 名	87.5%

○保育学科

名称	取得者数	取得率
幼稚園教諭免許	60 名中 56 名	93.3%
保育士資格	60 名中 54 名	90.0%

※幼稚園教諭免許・保育士資格は取得希望者に対しての数（率）

■令和5年度卒業生

※（ ）は留学生、内数

学科名	入学者	卒認対象者	卒業生	卒業率
ファッション総合	84	73	72	98.6%
食物栄養	40	40	40	100.0%
保 育	66	59	56	94.9%
ライフプランニング 総合	140 (31)	128 (29)	125 (28)	97.7%
合計	330 (31)	300 (29)	293 (28)	97.7%

【免許・資格取得率】

○食物栄養学科

名称	取得者数	取得率
栄養士免許	40 名中 39 名	97.5%

○保育学科

名称	取得者数	取得率
幼稚園教諭免許	58 名中 55 名	94.8%
保育士資格	59 名中 56 名	94.9%

※幼稚園教諭免許・保育士資格は取得希望者に対しての数（率）

■令和4年度卒業生

※（ ）は留学生、内数

学科名	入学者	卒認対象者	卒業者	卒業率
ファッション総合	61(5)	56(5)	54(5)	96.4%
食物栄養	59	58	54	93.1%
保 育	105	95	91	95.8%
ライフプランニング総合	131(25)	121(20)	119(20)	98.3%
合計	356(30)	330(25)	318(25)	96.4%

【免許・資格取得率】

○食物栄養学科

名称	取得者数	取得率
栄養士免許	58名中51名	87.9%

○保育学科

名称	取得者数	取得率
幼稚園教諭免許	88名中85名	96.6%
保育士資格	95名中91名	95.8%

※幼稚園教諭免許・保育士資格は取得希望者に対しての数（率）

■令和3年度卒業生

※（ ）は留学生、内数

学科名	入学者	卒認対象者	卒業者	卒業率
ファッション総合	73(8)	72(7)	67(3)	93.1%
食物栄養	59	57	56	98.2%
保 育	128	114	114	100.0%
ライフプランニング総合	150(30)	140(25)	138(24)	98.6%
合計	410(38)	383(32)	375(27)	97.9%

【免許・資格取得率】

○食物栄養学科

名称	取得者数	取得率
栄養士免許	57名中54名	94.7%

○保育学科

名称	取得者数	取得率
幼稚園教諭免許	109名中105名	96.3%
保育士資格	112名中107名	95.5%

※幼稚園教諭免許・保育士資格は取得希望者に対しての数（率）

■令和2年度卒業生

※（ ）は留学生、内数

学科名	入学者	卒認対象者	卒業者	卒業率
ファッション総合	84(11)	73 (8)	67(6)	91.8%
食物栄養	57	53	52	98.1%
保 育	148	143	141	98.6%
ライフ・ランニング総合	154(41)	140(40)	134(37)	95.7%
合計	443(52)	409(48)	394(43)	96.3%

【免許・資格取得率】

○食物栄養学科

名称	取得者数	取得率
栄養士免許	53名中52名	98.1%

○保育学科

名称	取得者数	取得率
幼稚園教諭免許	136名中133名	97.8%
保育士資格	139名中136名	97.8%

※幼稚園教諭免許・保育士資格は取得希望者に対しての数（率）

■令和元年度卒業生

※（ ）は留学生、内数

学科名	入学者	卒認対象者	卒業者	卒業率
ファッション総合	63(2)	58 (3)	53(2)	91.4%
食物栄養	71	63	62	98.4%
保 育	143	138	136	98.6%
ライフ・ランニング総合	129(5)	121(5)	113(5)	93.4%
合計	406(7)	380(8)	364(7)	95.8%

【免許・資格取得率】

○食物栄養学科

名称	取得者数	取得率
栄養士免許	63名中55名	87.3%

○保育学科

名称	取得者数	取得率
幼稚園教諭免許	136名中125名	91.9%
保育士資格	137名中125名	91.2%

※幼稚園教諭免許・保育士資格は取得希望者に対しての数（率）

◇調査の概要

- ・以下、8つの項目に対しての5段階評価(5高⇒1低)の平均値を記載。

◇調査数

- ・令和6年度は卒業生数293名、回答者280名、回答率96%。(※紙面調査)
- ・令和5年度は卒業生数318名、回答者295名、回答率93%。(※Web調査)
- ・令和4年度は卒業生数318名、回答者275名、回答率87%。(※Web調査)
- ・令和3年度は卒業生数375名、回答者259名、回答率69%。(※Web調査)

1. あなたが2年間で受講した授業の内容についての満足度はどうでしたか。

学 科 名	R6年度	R5年度	R4年度	R3年度
ファッション総合	3.91	4.06	3.74	3.86
食物栄養	4.23	4.05	4.15	3.70
保 育	4.31	3.65	3.89	3.48
ライフプランニング総合	4.19	4.11	4.19	3.71
全平均	4.15	4.01	4.02	3.67

※全体の評価が向上しており、特に保育学科の評価が高くなっている。

2. 本学で友だちの関係についてはどうでしたか。友だちに恵まれましたか。

学 科 名	R6年度	R5年度	R4年度	R3年度
ファッション総合	4.47	4.54	4.36	4.60
食物栄養	4.58	4.42	4.19	4.74
保 育	4.41	4.21	4.14	4.34
ライフプランニング総合	4.47	4.22	4.34	3.77
全平均	4.47	4.35	4.25	4.26

※全学科4点台となったが、一部友人関係がうまく築けない学生がいる。

3. あなたが接した先生方は親切・親身になってくれましたか。

学 科 名	R6年度	R5年度	R4年度	R3年度
ファッション総合	4.15	4.06	3.77	4.16
食物栄養	4.58	4.28	4.31	4.24
保 育	4.46	4.09	4.03	3.69
ライフプランニング総合	4.47	4.29	4.23	4.05
全平均	4.40	4.20	4.11	4.01

※全学科4点台となり、経年変化も上昇傾向。

4. あなたが接した事務職員は親切に対応してくれましたか。

学 科 名	R6年度	R5年度	R4年度	R3年度
ファッション総合	4.08	4.15	3.53	3.96
食物栄養	4.03	4.00	4.11	4.07
保 育	4.19	4.02	4.00	3.54
ライフプランニング総合	4.43	4.16	4.03	3.95
全平均	4.25	4.12	3.95	3.86

※全体的には上昇傾向にあるが、一部不満の声もある。

5. 本学の施設・設備は充実していましたか(教室、図書館、食堂、体育館や授業・実習で使用する機器等全体について教えてください)。

学 科 名	R6年度	R5年度	R4年度	R3年度
ファッション総合	4.02	4.10	3.79	4.12
食物栄養	4.35	4.23	4.19	4.04
保 育	4.37	4.02	3.86	3.70
ライフプランニング総合	4.32	4.26	3.97	4.04
全平均	4.26	4.18	3.95	3.97

※全体的に上昇傾向にあるが、一部不満の声もある。

6. 本学に入学して将来に生かせる力がつきましたか。

学 科 名	R6年度	R5年度	R4年度	R3年度
ファッション総合	4.18	4.18	3.85	4.20
食物栄養	4.55	4.35	4.19	4.15
保 育	4.49	4.19	4.23	4.03
ライフプランニング総合	4.25	4.17	4.24	3.89
全平均	4.32	4.22	4.16	4.03

※全学科4点台となり、経年変化も上昇傾向。

7. 本学に入学して一人の人間として成長することができましたか。

学 科 名	R6年度	R5年度	R4年度	R3年度
ファッション総合	0.00	4.21	3.91	4.20
食物栄養	0.00	4.35	4.31	4.24
保 育	0.00	4.21	3.99	3.93
ライフプランニング総合	0.00	4.24	4.34	3.93
全平均	0.00	4.26	4.16	4.04

※質問項目漏れのため比較できない。

8. 学訓である「創意・自立・敬愛」が身についたと思いますか。

学 科 名	R6年度	R5年度	R4年度	R3年度
ファッション総合	4.15	3.90	3.62	4.10
食物栄養	4.42	3.26	4.09	3.96
保 育	4.03	3.88	3.66	3.59
ライフプランニング総合	4.03	4.10	4.11	3.85
全平均	4.15	4.02	3.89	3.85

※全体の評価は上昇傾向であり、特に食物栄養学科の伸びが著しい。

香蘭女子短期大学の研究活動

■香蘭女子短期大学 研究紀要

研究活動については下記アドレス先に掲載

<https://www.koran.ac.jp/about/disclosure/research.html>

令和6年度
地域連携取組状況 1

【概評】

新型コロナウイルスが5類に移行し影響がほぼなくなったことから、多くの講座を開講できた。
講座数はコロナ前の水準を上回っており、今後の更なる発展が期待される。

■南区こども大学

開催日	事業名・テーマ等	主催者・開催場所・地域等	担当者	
			所属	氏名
7月27日	紙飛行機を飛ばそう	161教室	LP	須藤 信
8月3日	飛び出すカードを作ろう	135教室	LP	河野 洋子
8月8日	自分でデコろうエコバッグ	CAD室・148教室	FA	杉森 孝
8月9日	お魚料理を作って食べよう！ 骨がある魚の調理・食べ方体験	第一調理実習室・試食室(3号8F)	食栄	北原 勉

■南区出前講座(大学版)

開催日	事業名・テーマ等	主催者・開催場所・地域等	担当者	
			所属	氏名
6月17日	こころと食事の関係 入門編 ～便秘や下痢、おなかの調子は大丈夫ですか？～	横手三丁目会館	食栄	北原 勉
6月26日	かしこく受験を乗り切ろう！ー受験期のレシピや栄養素、時間帯は？ー	東花畑公民館	食栄	宮崎 貴美子
7月13日	簡単にできる膨らむお菓子②「スフレパンケーキ」	若久公民館	食栄	青木 友紀子
7月20日	モビールをつくろう	鶴田公民館	LP	河野 洋子
7月27日	簡単にできる膨らむお菓子②「スフレパンケーキ」	塩原公民館	食栄	青木 友紀子
7月30日	モビールをつくろう	花畑公民館	LP	河野 洋子
9月11日	からだところをほぐすストレッチ運動	鶴田校区 男女共同参画協議会	保育	中村 洋子
9月19日	肺炎患者の死亡率が急上昇中。呼吸が苦しい方への食事療法について	長丘公民館 鴻の巣学園	食栄	北原 勉
9月26日	紋切り型であそぼう	野多目校区和田1丁目男女共同参画部	LP	河野 洋子
10月12日	ハロウィン工作	西長住公民館	LP	河野 洋子
10月17日	紋切り型であそぼう	大平寺会館	LP	河野 洋子
11月13日	からだところをほぐすストレッチ運動	南区ひばる子どもプラザひつじのおうち	保育	中村 洋子
1月14日	寝たきりを予防するための食事と栄養	あじさいクラブ(宮竹公民館)	食栄	北原 勉
1月18日	紋切り型であそぼう	鶴田公民館	LP	河野 洋子
2月14日	紋切り型であそぼう	井尻4丁目会館	LP	河野 洋子
2月22日	モビールをつくろう	子どもの居場所やにしすまいる(弥永西)	LP	河野 洋子
3月 1日	ラッピング講座①	花畑公民館	食栄	青木 友紀子

■「子どもプラザ」での取り組み

開催日	事業名・テーマ等	主催者・開催場所・地域等	担当者	
			所属	氏名
月1回	発達相談・身体測定	南区おおはし子どもプラザ	保育	濱田 尚志
5月22日	ふれあい遊び	南区おおはし子どもプラザ	保育	寺地 亜衣子
6月21日	食育講座・相談	南区おおはし子どもプラザ	非常勤	山田 貴美枝
6月27日	パネルシアターで遊ぼう	南区おおはし子どもプラザ	保育	梅田 美穂
7月20日	パパ・ママのための防災講座	南区おおはし子どもプラザ	保育	姫島 源太郎
7月25日	ふれあい遊び&ゲーム	南区おおはし子どもプラザ	保育	藤田 美雪
8月9日	香蘭幼稚園の先生と遊ぼう	南区おおはし子どもプラザ	保育	山田 裕美子
10月17日	ふれあい遊び	南区おおはし子どもプラザ	保育	寺地 亜衣子
10月25日	製作遊び	南区おおはし子どもプラザ	非常勤	河野 博行
11月15日	食育講座・相談	南区おおはし子どもプラザ	非常勤	山田 貴美枝
11月22日	からだ元気タイム	南区おおはし子どもプラザ	保育	中村 洋子
12月13日	パネルシアターで遊ぼう	南区おおはし子どもプラザ	保育	梅田 美穂
12月20日	クリスマスカード作り	南区おおはし子どもプラザ	非常勤	河野 博行
1月30日	一緒に楽しむ 節分あそび「紙芝居&節分のおもちやづくり」	南区おおはし子どもプラザ	保育	阿久根千賀子
2月28日	音で遊ぼう	南区おおはし子どもプラザ	保育	黒木 知美
3月13日	ふれあい遊び	南区おおはし子どもプラザ	保育	寺地 亜衣子

■「南市民センター」での取り組み：南市民センターで実施

開催日	事業名・テーマ等	担当者	
		所属	氏名
8月24日	南市民センター夏まつり「親子で楽しむ ふれあい遊び&ヒップホップ」	保育	阿久根千賀子
	「家族写真を撮って、印刷して、フォトフレームをつくろう！」	LP	河野 洋子
2月8日	#南市民センターでいろいろプロジェクト 企業・大学と学ぼう！語り合おう！会	食栄	山口 孝治

令和6年度
地域連携取組状況 2

■学内での講座

開催日	事業名・テーマ等	主催者・開催場所・地域等	担当者	
			所属	氏名
7月8日	藤蔭高等学校 学校訪問 (AM) 生徒37名+教員3名	香蘭幼稚園、学生食堂他	保育	濱田 尚志
9月6日	福島高等学校 学校訪問 (PM) 生活デザイン科2年 約40名	125教室	アドミッションオフィス	
10月1日	韓流フェス2024 農心ジャパンとのコラボ企画	132教室	LP	中濱 雄一郎
10月15日	益田翔陽高等学校 学校訪問 (AM) 2年生30名+教員2	126、124、121、161教室	アドミッションオフィス	
2月26日	博多工業高等学校 学校訪問 (PM) 生徒 名+教員2名	1 2 6 教室	アドミッションオフィス	
8～11月の 第3土曜日	アクティブ香蘭「子ども食堂」の運営 (全4回 第3土曜)	学生食堂	食栄	宮崎 貴美子
10月15日	ジョイント授業「ナップザックを作ろう」 横手小6年生66名	154、157教室	FA	斉藤 朋子
年10回 土曜開催	スペシャルオリンピックス 日本 福岡 ヤングアスリートプログラム	体育館リズム室	保育	中村 洋子

■高等学校向け出前講義等

開催日	事業名・テーマ等	主催者・開催場所・地域等	担当者	
			所属	氏名
4月22日	ファッションショーの企画と実施 / 大学・短大での学びについて	福岡女子高等学校	FA	岡田 絵梨奈
6月11日	栄養模擬授業 (キッズ・コホレーション)	唐津西高等学校	食栄	北原 勉
	体験型職業理解 (さんぼう)	糸島農業高等学校	食栄	山口 孝治
	体験型職業理解 (ライセンスアカデミー)	八女高等学校	保育	杉森 映徳
7月3日	ファッション分野講義 (ライセンスアカデミー)	明光学園高等学校	FA	川島 博美
7月8日	保育分野講義 (チエルコミュニケーションブリッジ)	福岡海星女子学院高等学校	保育	黒木 知美
7月11日	SDGsチャレンジプロジェクト最終発表会 (総合的な探究の時間)	福岡翔高等学校	保育	溝田 めぐみ
7月23日	模擬講義 (栄養学)と学校紹介 (キャリア教育開発推進機構)	古賀寛成館高等学校	食栄	北原 勉
	職業理解・模擬授業 (栄養士) (キッズ・コホレーション)	宇美商業高等学校	食栄	宮崎 貴美子
7月26日	Web職業理解・模擬授業 (医療事務) (キッズ・コホレーション)	高鍋高等学校	LP	岩本 久美子
9月10日	ファッション・デザイン画による表現、着彩の方法	稲築志耕館高等学校	非常勤	徳山 真由美
10/11、11/29	色彩検定1級対策講座	香椎高等学校	FA	岡田 絵梨奈
10月16日	職業理解 (栄養士)・模擬授業 (バター作り) (日本トリコム)	こころ未来高等学校	食栄	宮崎 貴美子
10月18日	模擬講義「ファッションデザイン系」 (さんぼう)	須恵高等学校	FA	角谷 由加里
10月23日	模擬授業「LP学科のシステムについて」 (キッズ・コホレーション)	佐賀清和高等学校	LP	坂根 潤樹
10月29日	模擬講義「デザイン・ファッション」 (キッズ・コホレーション)	須恵高等学校	FA	角谷 由加里
11月20日	分野別説明会: 幼児教育・保育 (チエルコミュニケーションブリッジ)	藤蔭高等学校	保育	濱田 尚志
11月25日	分野別説明会: 服飾・ファッション (チエルコミュニケーションブリッジ)	福岡海星女子学院高等学校	FA	岡田 絵梨奈
11月27日	ちがいは講座「保育士/幼稚園教諭」 (チエルコミュニケーションブリッジ)	福岡高等学校	保育	姫島 源太郎
12月2日	食物栄養分野講義 (キッズ・コホレーション)	八代白百合学園高等学校	食栄	北原 勉
12月3日	職業理解「栄養・調理」 (キッズ・コホレーション)	敵木高等学校	食栄	青木 友紀子
12月4日	職業理解 (事務)・模擬授業 (キッズ・コホレーション)	島原商業高等学校	LP	坂根 潤樹
12月5日	保育分野講義 (チエルコミュニケーションブリッジ)	柏陵高等学校	保育	寺地 亜衣子
12月17日	ちがいは講座「保育士/幼稚園教諭」 (チエルコミュニケーションブリッジ)	筑豊高等学校	保育	杉森 映徳
1月29日	体験型職業理解 (ライセンスアカデミー)	沖学園高等学校	食栄	麻生 廣子
1月30日	ちがいは講座「保育士/幼稚園教諭」 (チエルコミュニケーションブリッジ)	日田三隈高等学校	保育	梅田 美穂
2月8日	職業理解・模擬講義「観光・国際」 (キッズ・コホレーション)	大村高等学校	LP	井野 智一郎
2月17日	職業理解・模擬講義 (さんぼう)	鹿本農業高等学校	LP	井野 智一郎
2月18日	系統・分野別分科会「栄養学・食物栄養学系」 (ライセンスアカデミー)	おおぞら高等学院 佐賀キャンパス	食栄	北原 勉
2月19日	保育 (美術・デザイン) 分野講義 (JS・コホレーション)	星琳高等学校	保育	杉森 映徳
2月20日	模擬講義「栄養士の仕事」 (さんぼう)	福岡農業高等学校	食栄	青木 友紀子
2月21日	職業別体験授業「事務の職業A (一般事務等)」 (ライセンスアカデミー)	佐世保東翔高等学校	LP	坂根 潤樹
2月21日	模擬講義「栄養の仕事」 (さんぼう)	純真高等学校	食栄	山口 孝治
2月27日	模擬講義「ファッションの仕事」 (さんぼう)	太宰府高等学校	FA	岡田 絵梨奈
3月7日	模擬講義「ファッション業界の仕事を知ろう！」 (キッズ・コホレーション)	佐賀清和高等学校	FA	角谷 由加里
3月10日	ちがいは講座「保育士/幼稚園教諭」 (チエルコミュニケーションブリッジ)	博多工業高等学校	保育	濱田 尚志
3月12日	職業理解「豊かな生活 (服飾)」 (ライセンスアカデミー)	福岡常葉高等学校	FA	角谷 由加里
3月14日	模擬授業・職業理解「栄養」 (キッズ・コホレーション)	南筑高等学校	食栄	北原 勉
3月19日	職業理解・体験・模擬講義「ホテル・ブライダル」 (キッズ・コホレーション)	高志菅高等学校	LP	井野 智一郎

令和6年度 地域連携取組状況 3

■純真高等学校CAT(職業観育成講座):純真高等学校内で実施

開催日	事業名・テーマ等	担当者	
		所属	氏名
4月24日	栄養士のお仕事紹介(含本学食物栄養学科について)簡単に栄養バランスの取れた食事を作る方法 3・1・2弁当箱法とは?	食栄	宮崎 貴美子
	「保育士の仕事:保育士と幼稚園教諭の違い」「保育学科での学び」	保育	濱田 尚志
5月1日	微生物と食品の関係	食栄	山口 孝治
	「言葉の発達」「子どもの独り言」	保育	濱田 尚志
5月8日	「保育教材について」ペネルシアター・ペープサート・絵本	保育	梅田 美穂
5月15日	保育に活かす心理学	保育	姫島 源太郎
6月5日	簡単に栄養バランスの取れた食事をつくる方法 3・1・2弁当箱法とは?	食栄	麻生 廣子
	子どもとの話し方(応答的保育)	保育	溝田 めぐみ
6月12日	健康と栄養 スマソる減塩プロジェクト「減塩が福岡県民を救う!」	食栄	北原 勉
	栄養士活躍の新たなステージ!「大切な人を守るために大事なこと」	食栄	北原 勉
	病気になってからでは遅い。栄養士の活躍が社会を守る!	保育	杉森 映徳
6月19日	「幼児の表現について」「手作りおもちゃ:プラ板製作」	保育	杉森 映徳
	勉強とスポーツを両立させて楽しい高校生活をおくるための食事	食栄	宮崎 貴美子
	食べられる実験(ポップコーン他)	食栄	宮崎 貴美子
	保育教材について	保育	濱田 尚志
7月10日	支援を必要とする子どもとの関わり	保育	濱田 尚志
9月18日	いろいろな食育について(幼児期の食育、ジュニアアスリートの食育)	食栄	麻生 廣子
9月25日	食品の色と香り(実習・講義)	食栄	山口 孝治
10月9日	食事バランスガイド(演習)	食栄	宮崎 貴美子
10月23日	癌患者を栄養士が発見! 栄養士とチーム医療の実際 「NHK朝の連続ドラマ『おむすび』(橋本環奈主演)スタートとこれからの栄養士の活躍!」	食栄	北原 勉
10月30日	膨らむお菓子・スフレパンケーキ(実習)	食栄	青木 友紀子
11月6日	子どもを対象とした栄養指導・媒体づくり(実習)	食栄	宮崎 貴美子

■夏季公開講座(高等学校教員向け):学内

開催日	事業名・テーマ等	主催者・開催場所・地域等	担当者	
			所属	氏名
8月8日	家庭科授業に活用できる楽しい染色講座	144教室、4Fラウンジ	非常勤	中園 唯
8月8日	タンパク質の変化を利用したチーズ作り	理化学実験室(371)	食栄	山口 孝治

■その他出前講義等

開催日	事業名・テーマ等	主催者・開催場所・地域等	担当者	
			所属	氏名
4/13~7/27	ソウタシエ(縁を装飾するコードで作るアクセサリー)講師	株式会社Dua主催 ワークショップ	FA	斉藤 朋子
4/29,30, 5/3,4,5	糸島ハンドメイドカーニバル2024	志摩中央公園プロムナード	LP	中濱 雄一郎
9/10、11	第9回 短大フォーラム	京都光華女子大学短期大学部	LP	中濱 雄一郎
9月11日	ブライダルセレモニー(非常勤:大島先生担当模擬挙式)	博多サンヒルズホテル	LP	中濱 雄一郎
9月13日	地域支援事業『なかよしサロン』初心者向け ストレッチ講座	那珂川第一幼稚園	保育	中村 洋子
9月19日	手芸講座「ファスナー付きポーチ」の製作	高木校区 男女共同参画事業部	保育	相賀 貴子
12月13日	地域支援事業『なかよしサロン』「ぬか床を作ろう～食で心」	那珂川第一幼稚園	食栄	宮崎 貴美子
12月14日	クリスマスの大冒険(前原商店街)雑誌政策のための取材	Super Spinns めぐるラボいとしま	LP	中濱 雄一郎
2月28日	パパ・ママ広場～大人の楽描(らくがき)～	那珂川第二幼稚園	保育	杉森 映徳

■那珂川市との連携事業

開催日	事業名・テーマ等	主催者・開催場所・地域等	担当者	
			所属	氏名
6月23日	サンデーあそぼっ! 8:50~11:30	ふれあいこども館	保育	濱田 尚志
7月7日	10周年記念イベント	ふれあいこども館	保育	杉森 映徳
10月27日	サンデーあそぼっ! 8:50~11:30	ふれあいこども館	保育	濱田 尚志

■すこやかカレッジ:学内

開催日	事業名・テーマ等	主催者・開催場所・地域等	担当者	
			所属	氏名
2月6日	時間栄養学に学ぶかしこい食べ方～体の中に時計があるの	381教室	食栄	宮崎 貴美子
2月13日	世界の料理「スペイン料理」	第一調理実習室・試食室(3号8F)	食栄	青木 友紀子
2月20日	肺疾患COPDって知っていますか?～世界中で肺疾患が増加中～呼吸が苦しい方への食事療法	381教室	食栄	北原 勉
2月27日	実験で学ぶ食べ物の色	理化学実験室(371)	食栄	山口 孝治
3月6日	ほったらかし料理について 手間をかけずに時間をかける	381教室	食栄	麻生 廣子

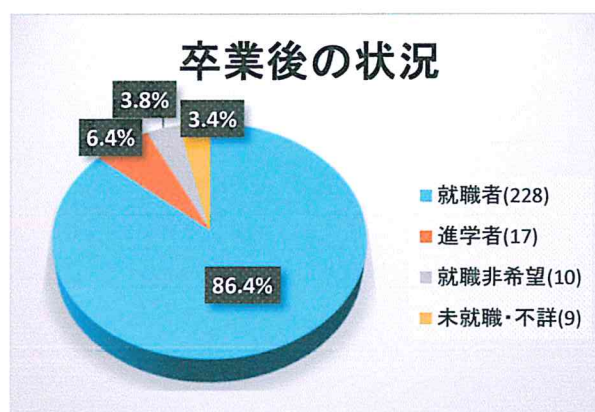
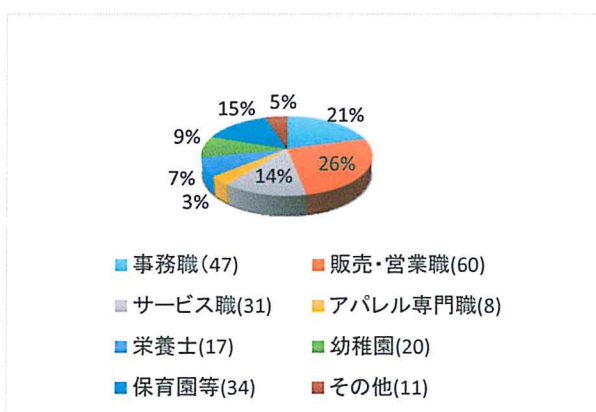
進路状況

短期大学

R6年度卒業生

R7年5月1日現在

学科	FA総合	食物栄養	保育	LP総合	総計	テクニカル 専攻科
卒業生数 (留学生を除く)	62	30	61	111	264	4
就職希望者数	46	28	58	105	237	4
希望率%	74.2%	93.3%	95.1%	94.6%	89.8%	100.0%
就職決定者数	45	26	58	99	228	4
就職決定率%	97.8%	92.9%	100.0%	94.3%	96.2%	100.0%
進学者数	11	0	2	4	17	0
就職非希望者	5	2	1	2	10	0



専門学校

R6年度卒業生

R7年5月1日現在

学科	専攻科	デザイン	テクニカル	ビジネス	総計
卒業生数 (留学生を除く)	43	21	20	20	104
就職希望者数	33	16	18	16	83
希望率%	76.1%	76.2%	90.0%	80.0%	79.8%
就職決定者数	31	16	17	16	80
就職決定率%	94.0%	100.0%	94.4%	100.0%	96.4%
進学者数	0	1	0	0	1
就職非希望者	10	4	2	4	20

■就職者の職種別割合

学科	専攻科	デザイン	テクニカル	ビジネス
デザイナー・企画 職・生産管理職	36%	31%	—	—
縫製職 パタンナー、CADオペ レーター等	32%	6%	71%	—
販売職 ファッションアドバイザー等	26%	57%	24%	100%
営業職 アパレルメーカー・営 業・企画等	6%	—	—	—
その他 EC職、ブライダルコーディネーター等	—	6%	5%	—

人事について

<香蘭女子短期大学>

下記の表は令和2年度以降の短期大学教職員数である（※寮監2名を除く。講師欄に助教含む。）

年度	教員数				助手 副手	事務 職員	短大 合計
	教授	准教授	講師	計			
R 2 年度	16	12	7	35	12	24	71
R 3 年度	15	10	6	31	12	24	67
R 4 年度	11	10	9	30	12	24	66
R 5 年度	12	12	8	32	12	23	68
R 6 年度	12	14	6	32	10	23	65
R 7 年度	14	12	4	30	9	21	60

教員については、定年等により令和2年度から令和6年度末の5年間で合計16名（令和2年度末7名、令和3年度末6名、令和5年度末1名、令和6年度末2名）が退職。退職に対しての教員の令和3年度から令和7年度までの新規採用は9名（令和3年度2名、令和4年度5名、令和5年度2名）に留め、令和7年4月時点で30名（内、嘱託1名）となった。令和2年度時点で設けていた教員の削減目標は31名であり、目標は達成できている。

助手（副手）については、令和7年4月時点で9名となっておりで令和2年度時点の削減目標13名を下まわっており、目標は達成できている。

コロナ禍で募集を行った令和3年度募集から、食物栄養、保育の入学生数が減少、定員充足率の低下が著しい状況となり、経常費補助金が減額、一部学科は不交付となる事態が発生している。ついては、令和6年度募集から食物栄養、保育、ライフプランニング総合の3学科の入学定員変更（減員）を行うこととしたが、令和6年度・7年度の食物栄養学科、保育学科の入学者は、定員の半分程度の入学に留まっている。食物栄養、保育の2学科については資格・免許に関わる教員の配置が求められるため、減員に応じ単純に教員の数減らすことはできないが、令和8年度以降の教員の採用については、定年等の退職者が出た場合に補充の必要性を精査し、採用の有無を決定したい。また、助手（副手）の採用は原則として行っておらず、令和6年度は助手1名を事務局に異動させる人事を行った。入学者数の回復が見込めない場合は、今後も事務局への異動なども視野に入れ検討を行う。

職員については、原則、定年等退職者の発生に応じ新規採用を行っている。令和5年度末に総務・IR課に、令和6年度末に学生支援課に定年退職者が発生したが、正職員は採用せず、パートを雇用することで対応した。また、学生募集を強化するため令和6年度にアドミッションオフィスの職員を1名増員したが、学科助手を異動させる形で増員した。令和6年度末にアドミッションオフィス職員が1名退職したが、こちらは1名を新規採用する対応を取った。事務職員の令和7年度の人数は21名（内、嘱託2名）となっており、令和2年度時点で設けていた職員の削減目標の23名を下まわっており、目標は達成できている。今後も定年等の退職者が発生した場合、業務内容によっては専任の採用ではなく、学内での異動、派遣やパートの採用等、人件費を抑える採用方法を検討した上で採用活動を行う。

＜香蘭ファッションデザイン専門学校＞

令和3年度当初は、教員14名（校長1名、副校長1名を含む）、事務職員5名（寮監除く）であった。クラス担任制（9クラス）で運営しており、9名が担任となり、4名の副担任がクラス運営の補佐に当たっている。校長以外の教員は、担任または副担任の業務を行っており、人数的な余裕はほとんどない状況であった。令和3年度の入学生が前年度から大幅に増加したため、令和3年度中（8月）に教員1名を採用し、2学期より教員を15名体制とした。令和3年度末に教員3名が定年等で退職したが、うち1名は令和4年より嘱託再雇用したのに加え、新たに教員1名、教務系職員1名を採用した。また、事務主任と教員を兼務していた職員を主幹教員に配置し、令和4年度は教員を16名体制とした。事務職員は令和3年度は5名であったが、事務主任が配置換えになったことに伴い令和4年度は4名となった。令和4年度末に嘱託教員1名が退職したことに伴い、令和5年度に教員1名を採用した。

令和5年度末に教員1名（副校長）が定年退職、事務職員（事務長）が嘱託満了により退職したため、令和6年度に教員、事務職員をそれぞれ1名採用した。新たな副校長、事務長については現教職員から任命した。令和4年度より教員16名、事務職員4名の体制としているが、今後も現教職員数を維持することを基本とし、入学・在学者数に応じ、教職員数の増減を行うことを計画している。

＜香蘭幼稚園＞

令和3年度は、教員16名（園長除く）、職員1名であったが、令和4年度は教員を17名に増員した。また、令和5年度末で副園長の雇用契約が満了することを見据え、令和5年度はさらに2名増員し、19名体制とした。令和5年度末に教員の退職者が3名（副園長1名含む）あったが、令和6年度は入園児が減少したことから新規採用1名（中途採用）とし、退職した副園長の後任として、短期大学の保育学科講師1名を兼職として副園長に据え、令和6年度は教員18名（園長除く、副園長含む）、事務職員1名体制とした。令和7年度から短大と兼任の副園長を専任とした。令和6年度末に教員が2名退職したが、園児数の減少もあり、新規採用は行わず、パートを増員することで対応している。今後も当該年度の入園児数、在園児数に応じ、専任教員18名前後の体制を維持する。

令和3年度から5年度にかけ、送迎バス運転手が高齢により順次退職。求人を出したが希望者が現れず、現在は人材派遣会社に運転業務を委託し、業務のアウトソーシングを図った。また、令和7年4月時点で保育補助のパート職員として9名、事務補助のパート職員1名を雇用しており、保育補助のパートは令和6年4月時点の4名から9名へと大幅に増員した。今後も満3歳児（2歳児）の受け入れを増やすためには、パート職員の活用が重要になるため、人材派遣会社等の機関を上手く利用し、パートを含めた教職員の必要数をしっかり確保していきたい。

＜那珂川第一幼稚園＞

平成30年度より幼保連携型認定こども園に移行し、令和6年度で7年目を迎えた。幼稚園部（1号）と保育園部（2号・3号）があり、国が定めた人員配置に則った体制で運営している。令和5年度末に園長が定年により退職、また令和5年度途中より産休を取得した保育教諭が1名発生したため、令和6年度に正職の保育教諭と嘱託の保育教諭をそれぞれ1名採用した。よって、令和6年度の体制は園長を含めた保育教諭が19名（うち嘱託4名）、給食（管理栄養士・栄養士）職員が3名、事務職員が1名となっている。退職した園長の後任は主幹保育教諭を昇格、また事務主任を事務長に昇格させる人事も合わせて

行った。令和 7 年度についても保育教諭 19 名（うち嘱託 4 名、契約 1 名）、給食（管理栄養士・栄養士）職員が 3 名、事務職員が 1 名の体制を維持している。

認定こども園では、十分なパート職員の配置が重要となるが、令和 7 年 4 月現在、保育教諭、保育補助、看護師、調理補助、事務補助、送迎バス運転として 30 名程度のパート職員雇用している。近年、人員の確保が難しい状況があり、一部は人材派遣会社に依頼し職員を確保している。公共交通機関での通勤が難しい立地も教職員の確保の足かせとなっている状況があり、令和 7 年度以降もパートを含めた教職員の安定した確保が課題である。

<那珂川第二幼稚園>

那珂川市の未就学児の人口も減少傾向にあることから、令和 6 年度より私学助成園から施設型給付園へ移行する組織改編を行い、利用定員を 240 名から 180 名に減員した。

令和 4 年度は、園長を含めた教員が 19 名（うち嘱託 2 名）、職員が 1 名、パート（預かり等保育補助、バス運転）8 名であった。園児数の減少を受け、令和 4 年度末に 6 名の教員が退職したが、令和 5 年度は 1 名の採用に留め、14 名（園長含む）体制とした。また、嘱託 2 名の内、1 名の雇用形態を変更し、正職とした。令和 5 年度末に 1 名の退職者が発生したため、令和 6 年度に新卒者を 1 名採用した。また、令和 5 年度途中から産休に入った教員が 1 名いたことから、令和 6 年度 1 年間の期間限定で 1 名の嘱託教員を採用した。令和 6 年度末に 2 名の教員が退職したが、園児の減少、産休の教員が復職したこともあり、新規採用は行わず、産休代用の嘱託職員を引き続き雇用することで対応した。よって、令和 7 年度 4 月現在、園長を含めた教員が 13 名（うち嘱託 2 名）、職員が 1 名の 14 名体制となっている。パート職員については、保育補助・預り保育補助として 7 名、送迎バス運転として 3 名を雇用している。令和 4 年度中からバス運転手の人材派遣会社への運転業務委託を行っていたが、令和 7 年度については、パートの運転手の採用ができたため、業務委託は行っていない。

施設型給付園への移行を完了し、当然ながら法令に則った人員の配置を行っている。今後も法令を満たす人員配置を行うが、那珂川第一幼稚園と同様に公共交通機関での通勤が難しい立地も教職員の確保の足かせとなっている状況があり、令和 7 年度以降もパートを含めた教職員の安定した確保が課題である。

施設・設備等について

■令和元年度に実施した施設・設備工事等の主要事案は以下のとおりである。

- ・(短期大学) 3号館空調設備及びトイレの改修工事
- ・(短期大学) 8号館エレベーターの取り換え工事
- ・(短期大学) ブロック塀(正門側)の改修工事
- ・(専門学校) 本館改修工事
- ・(香蘭幼稚園) 遊戯室空調新設工事
- ・(那珂川第二幼稚園) 遊戯室外壁補修及び園庭通路ルーフ新設工事
- ・(那珂川第二幼稚園) 送迎バス買い替え
- ・(法人) 春吉土地の売却

■令和2年度に実施した施設・設備工事等の主要事案は以下のとおりである。

- ・(短期大学) 第二マルチメディア(125)教室の更新
- ・(短期大学) 電話機器(主装置・電話機)の更新
- ・(専門学校) 電話機器(主装置・電話機)の更新
- ・(専門学校) 購買部の改修工事
- ・(香蘭幼稚園・法人) 第二運動場用地として隣地を購入・造成

■令和3年度に実施した施設・設備工事等の主要事案は以下のとおりである。

- ・(短期大学) 全館Wi-Fi化工事
- ・(短期大学) CAD室PC更新
- ・(短期大学) ブロック塀(那珂川沿い)改修工事
- ・(短期大学) 7, 8号館エレベーター建屋の防水工事
- ・(専門学校) パソコン室PC更新
- ・(那珂川第二幼稚園) 多目的トイレの新設工事

■令和4年度に実施した施設・設備工事等の主要事案は以下のとおりである。

- ・(短期大学) 7号館外壁改修工事(令和4年度着手、令和5年度終了)
- ・(短期大学) 7号館トイレ改修工事(令和4年度着手、令和5年度終了)
- ・(短期大学) 8号館外壁改修工事(令和4年度着手、令和5年度終了)
- ・(短期大学) 7号館トイレ改修工事(令和4年度着手、令和5年度終了)
- ・(短期大学) 1号館外壁(庇)簡易改修工事
- ・(短期大学) パソコン室更新工事
- ・(短期大学) 学生寮(那珂川寮・三宅寮)寮室Wi-Fi化工事
- ・(専門学校) 本館屋根の改修工事、照明LED化工事(本館の一部)
- ・(那珂川第二幼稚園) 園舎外壁塗装工事

■令和5年度に実施した施設・設備工事等の主要事案は以下のとおりである。

- ・(短期大学) 7号館外壁改修工事(令和4年度着手、令和5年度終了)
- ・(短期大学) 7号館トイレ改修工事(令和4年度着手、令和5年度終了)
- ・(短期大学) 8号館外壁改修工事(令和4年度着手、令和5年度終了)
- ・(短期大学) 7号館トイレ改修工事(令和4年度着手、令和5年度終了)
- ・(短期大学) 全館照明LED(省エネ)化工事
- ・(短期大学) 3号館エレベーター(2基)改修工事
- ・(短期大学) 全館機械警備導入工事(防犯カメラ・人感センサー・事務局電子錠の設置)
- ・(専門学校) CAD室PC更新工事
- ・(那珂川第一幼稚園) 照明LED化工事
- ・(那珂川第一幼稚園) 園児用トイレ増設工事(1階部分)
- ・(那珂川第二幼稚園) 照明LED化工事
- ・(那珂川第二幼稚園) 保育室、廊下及び園児用トイレのリフォーム工事(1階部分)

■令和6年度に実施した施設・設備工事等の主要事案は以下のとおりである。

- ・(専門学校) 本館外壁改修工事
- ・(専門学校) 全館照明LED(省エネ)化工事

■令和7年度以降の「第2号基本金組入計画」にかかる工事等予定は以下のとおりである。

- ・(専門学校) 本館実習室改修工事: 21,000,000円(令和7・8年度)

財務の概要

(1) 令和6年度決算の概要

①資金収支計算書について

「資金収支計算書」は、当該年度の教育研究等の諸活動に対するすべての収入と支出の内容及び支払い資金（現預金）の顛末を明らかにしたものです。お金の流れをすべて表した計算書となっていますので、「学生生徒納付金収入」、「補助金収入」といった収入のみならず、授業料等の「前受金収入」、財務活動等の「その他の収入」などが含まれ、支出では、「人件費支出」、「教育研究経費支出」等以外にも「資産運用支出」、「その他の支出」などが含まれます。

令和6年度の資金収支の収入合計額は21億2,772万円（万円未満省略、以下同じ）で、前年度繰越支払資金の31億1,053万円と合算した52億3,826万円が収入の部の合計となりました。

収入の部の主な内訳は、学生生徒納付金収入が9億8,655万円、手数料収入が997万円、補助金収入が5億5,147万円、資産売却収入が912万円、付随事業・収益事業収入が6,960万円、受取利息・配当金収入が5,767万円、雑収入が9,778万円、前受金収入が2億6,906万円、その他の収入が4億5,938万円、資金収入調整勘定が△3億8,946万円でした。収入の中で特筆すべきものとしては、補助金収入の中に、令和2年度より開始された、「高等教育の修学支援制度」に係る授業料等減免相当分の支給額が8,263万円含まれています。

令和6年度の資金収支の支出合計額は22億1,994万円で、翌年度繰越支払資金30億1,831万円と合算した52億3,826万円が支出の部の合計となりました。

支出の部の主な内訳は、人件費支出が11億3,099万円、教育研究経費支出が3億8,929万円、管理経費支出が1億1,599万円、施設関係支出が6,655万円、設備関係支出が2,205万円、資産運用支出が1億3,428万円、その他の支出が3億9,184万円、資金支出調整勘定が△3,108万円でした。教育研究経費支出の中に、「高等教育の修学支援制度」に係る授業料等減免額の奨学金支出が8,263万円含まれています。

②活動区分資金収支計算書について

「活動区分資金収支計算書」は企業の財務諸表の内、キャッシュフロー計算書と類似した役割を果たす計算書となります。「教育活動による資金収支」、「施設整備等活動による資金収支」、「その他の活動による資金収支」の3つに区分して、それぞれの区分での資金の増減を計算します。これにより活動区分ごとの資金の流れが明らかになり、支払資金の収支差額が把握しやすくなっています。

「教育活動による資金収支」では、本業である教育活動の収支状況を把握することができます。令和6年度の教育活動資金収支差額は453万円の収入超過となっています。次に「施設整備等活動による資金収支」では、施設・設備関係の収支を把握することができます。施設整備等活動資金収支差額は4,278万円の支出超過となっています。最後に、「その他の活動による資金収支」では、有価証券売却収入や購入支出、特定資産の取崩収入や繰入支出、税金等預り金などの収入や支出を把握することができます。その他の活動資金収支差額は、4,944万円の支出超過となりました。これらの収支差額を合計した、支払資金の増減額は、9,222万円の減少となりました。その結果、前年度繰越支払資金31億1,053万円に、9,222万円を減少させた、30億1,831万円が翌年度繰越支払資金となりました。

③事業活動収支計算書について

「事業活動収支計算書」は、企業の財務諸表の内、損益計算書に類似した役割を持つ計算書類です。当該年度の事業活動の収支を表すもので、経常的な収支を「教育活動収支」と「教育活動外収支」に区分し、臨時的な収支は「特別収支」として区分し、それぞれの区分ごとに事業活動の収入及び支出の状況を把握できるようにしています。これによって学校法人の経営状態が健全であるかどうかを判断することができます。

令和6年度事業活動収支における事業活動収入計は17億7,963万円、事業活動支出計は20億2,394万円となりました。また、事業活動収入計と事業活動支出計の差額は2億4,430万円の支出超過で、基本金組入額は3,562万円を計上しました。

教育活動収支では、経常的な収支のうち、本業である教育活動の収支を見ることができます。教育活動収入計は、17億1,929万円、教育活動支出計は19億6,656万円、教育活動収支差額は2億4,726万円の支出超過となりました。

次に教育活動外収支では、経常的な収支のうち、主に財務活動の収支を見ることができます。教育活動外収入計は5,767万円、教育活動外支出は31万円、教育活動外収支差額は5,736万円の収入超過となりました。

経常収支差額では、経常的な収支バランスを見ることができますが、1億8,990万円の支出超過となりました。

特別収支差額では、資産売却や施設・設備関係の補助金等の臨時的な収支を見ることができ、特別収入計は266万円、特別支出計は5,705万円で、5,439万円の支出超過となりました。

基本金組入前当年度収支差額では、当該年度の収支を見ることができますが、結果として2億4,430万円の支出超過となりました。

基本金組入額合計は、学校法人を維持するために必要な資産を継続的に保持するための組入額で、3,562万円の計上となりました。

当年度収支差額は、基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額合計を控除したもので、2億7,992万円の支出超過となりました。

④貸借対照表について

「貸借対照表」は、学校法人としての財政状態を明らかにするもので、令和7年3月31日時点における資産、負債、純資産の内容および残高を表しています。

「有形固定資産」の減少の要因となった主なものは、減価償却額によるものです。「特定資産」の減少については、主として第2号基本金計画の終了に伴う引当特定資産を取り崩したことが主な要因です。「その他の固定資産」の減少については、有価証券の購入をしたことが原因です。

「資産の部」合計は本年度、176億8,883万円となり、前年度と比較して2億5,344万円減少しています。また、「負債の部」合計は8億4,036万円となり、前年度と比較して914万円減少しています。その結果、基本金と繰越収支差額を合算した「純資産の部」合計は、168億4,846万円となり、前年度と比較して2億4,430万円減少しました。

令和6年度（令和6年4月1日～令和7年3月31日）決算概要

①資金収支計算書

(単位 円)

収入の部				
科 目	予 算	決 算	差 異	
学生生徒等納付金収入	979,610,000	986,558,991	△	6,948,991
手数料収入	9,940,000	9,972,800	△	32,800
寄付金収入	5,550,000	6,538,389	△	988,389
補助金収入	520,550,000	551,474,611	△	30,924,611
資産売却収入	9,200,000	9,124,798		75,202
付随事業・収益事業収入	72,500,000	69,609,749		2,890,251
受取利息・配当金収入	56,200,000	57,677,812	△	1,477,812
雑収入	87,580,000	97,786,053	△	10,206,053
借入金等収入	0	0		0
前受金収入	252,200,000	269,060,220	△	16,860,220
その他の収入	411,100,000	459,381,800	△	48,281,800
資金収入調整勘定	△ 367,590,000	△ 389,463,733		21,873,733
前年度繰越支払資金	3,110,536,000	3,110,539,051		
収入の部合計	5,147,376,000	5,238,260,541	△	90,884,541
支出の部				
科 目	予 算	決 算	差 異	
人件費支出	1,133,646,000	1,130,994,879		2,651,121
教育研究経費支出	398,070,000	389,298,299		8,771,701
管理経費支出	121,420,000	115,997,035		5,422,965
借入金等利息支出	0	0		0
借入金等返済支出	0	0		0
施設関係支出	53,700,000	66,557,588	△	12,857,588
設備関係支出	22,150,000	22,053,686		96,314
資産運用支出	105,000,000	134,285,171	△	29,285,171
その他の支出	361,980,000	391,843,274	△	29,863,274
[予備費]				
資金支出調整勘定	△ 32,000,000	△ 31,082,518	△	917,482
翌年度繰越支払資金	2,983,410,000	3,018,313,127	△	34,903,127
支出の部合計	5,147,376,000	5,238,260,541	△	90,884,541

②活動区分資金収支計算書

(単位 円)

	科 目	金 額
教育活動	教育活動資金収入計	1,719,315,023
	教育活動資金支出計	1,633,032,146
	差引	86,282,877
	調整勘定等	△ 81,752,753
	教育活動資金収支差額	4,530,124
施設整備等活動	施設整備等活動資金収入計	60,729,100
	施設整備等活動資金支出計	108,611,274
	差引	△ 47,882,174
	調整勘定等	571,720
	施設整備等活動資金収支差額	△ 47,310,454
	小計（教育活動+施設整備活動）	△ 42,780,330
その他の活動	その他の活動資金収入計	420,193,703
	その他の活動資金支出計	469,600,173
	差引	△ 49,406,470
	調整勘定等	△ 39,124
	その他の活動資金収支差額	△ 49,445,594
	支払資金の増減額	△ 92,225,924
	前年度繰越支払資金	3,110,539,051
	翌年度繰越支払資金	3,018,313,127

③事業活動収支計算書

(単位 円)

	科 目	金 額
教育活動	教育活動収入計	1,719,297,523
	教育活動支出計	1,966,566,205
	教育活動収支差額	△ 247,268,682
教育活動外	教育活動外収入計	57,677,812
	教育活動外支出計	316,800
	教育活動外収支差額	57,361,012
	經常収支差額	△ 189,907,670
特別収支	特別収入計	2,662,302
	特別支出計	57,059,009
	特別収支差額	△ 54,396,707
	基本金組入前当年度収支差額	△ 244,304,377
	基本金組入合計	△ 35,621,146
	当年度収支差額	△ 279,925,523
	前年度繰越収支差額	3,067,841,134
	基本金取崩額	28,682,014
	翌年度繰越収支差額	2,816,597,625

④貸借対照表

(単位 円)

資産の部			
科目	令和7年3月31日	令和6年3月31日	増 減
固定資産	(14,557,834,686)	(14,780,769,670)	(△ 222,934,984)
有形固定資産	< 8,165,443,492 >	< 8,403,859,939 >	< △ 238,416,447 >
土地	3,313,151,447	3,313,151,447	0
建物	4,251,013,041	4,437,518,145	△ 186,505,104
その他の有形固定資産	601,279,004	653,190,347	△ 51,911,343
特定資産	< 6,219,599,946 >	< 6,248,919,486 >	< △ 29,319,540 >
その他の固定資産	< 172,791,248 >	< 127,990,245 >	< 44,801,003 >
流動資産	(3,130,999,101)	(3,161,508,536)	(△ 30,509,435)
現金預金	3,018,313,127	3,110,539,051	△ 92,225,924
その他の流動資産	112,685,974	50,969,485	61,716,489
資産の部合計	17,688,833,787	17,942,278,206	△ 253,444,419
負債の部			
科目	令和7年3月31日	令和6年3月31日	増 減
固定負債	(474,599,946)	(463,919,486)	(10,680,460)
退職給与引当金	474,599,946	463,919,486	8,930,460
流動負債	(365,765,078)	(385,585,580)	(△ 19,820,502)
短期借入金	0	0	0
その他の流動負債	365,765,078	385,585,580	△ 19,820,502
負債の部合計	17,688,833,787	17,942,278,206	△ 253,444,419
純資産の部			
科目	令和7年3月31日	令和6年3月31日	増 減
基本金	(14,031,871,138)	(14,024,932,006)	(6,939,132)
第1号基本金	13,631,871,138	13,584,932,006	46,939,132
第2号基本金	20,000,000	60,000,000	△ 40,000,000
第3号基本金	250,000,000	250,000,000	0
第4号基本金	130,000,000	130,000,000	0
繰越収支差額	(2,816,597,625)	(3,067,841,134)	(△ 251,243,509)
翌年度繰越収支差額	2,816,597,625	3,067,841,134	△ 251,243,509
純資産の部合計	16,848,468,763	17,092,773,140	△ 244,304,377
負債及び純資産の部合計	17,688,833,787	17,942,278,206	△ 253,444,419

(2) その他

①有価証券の状況

【総括表】		(単位　円)		
	当年度（令和　7年　3月31日）			
	貸借対照表計上額	時　　　価	差　　　額	
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	424,360,896	471,644,758	47,283,862	
（うち満期保有目的の債券）	(　　300,000,000　)	(　　301,017,300　)	(　　1,017,300　)	
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	1,476,774,607	1,384,461,234	-92,313,373	
（うち満期保有目的の債券）	(　　1,356,823,958　)	(　　1,267,472,950　)	(　-89,351,008　)	
合　　　計	1,901,135,503	1,856,105,992	-45,029,511	
（うち満期保有目的の債券）	(　　1,656,823,958　)	(　　1,568,490,250　)	(　-88,333,708　)	
時価のない有価証券	0			
有価証券合計	1,901,135,503			

【明細表】		(単位 円)	
種類	当年度 (令和 7年 3月31日)		
	貸借対照表計上額	時 価	差 額
債券	1,656,823,958	1,568,490,250	-88,333,708
株式	3,661,864	12,607,240	8,945,376
投資信託	240,649,681	275,008,502	34,358,821
貸付信託	0	0	0
合 計	1,901,135,503	1,856,105,992	-45,029,511
時価のない有価証券	0		
有価証券合計	1,901,135,503		

②借入金の状況 … なし

③学校債の状況 … なし

④寄附金の状況

	金額 (単位: 円)	寄付者
教育・研究環境の充実のための寄附	3,840,389	後援会・同窓会・保護者会・学友会より
〃	2,698,000	令和6年度短大卒業生より
	6,538,389	

⑤補助金の状況 (単位 円)

科目	金額
国庫補助金	109,325,000
経常費補助金	53,788,000
高等教育の修学支援補助金	55,537,000
その他の補助金	0
地方公共団体補助金	114,415,048
経常費補助金 (県)	59,376,000
その他の地方補助金	27,939,148
高等教育の修学支援補助金	27,099,900
施設型給付費	327,734,563

⑥関連当事者等との取引の状況

ア) 関連当事者

1) 当法人の理事長 (坂根康秀) が、社会福祉法人香蘭育成会の理事長を務めている。
2) 当法人の副理事長 (坂根潤樹) が、社会福祉法人香蘭育成会の理事を務めており、当法人の理事長と親族である。
3) 当法人が所有する土地を、社会福祉法人香蘭育成会しおばる保育園の敷地として無償で貸与している。
4) 当法人と社会福祉法人香蘭育成会しおばる保育園と共同で福岡市の委託事業を受託しており、預り金のうち13,955,480円はしおばる保育園に分配される清算金である。

イ) 出資会社 … なし

⑦学校法人間財務取引 … なし

(3) 令和6年度の財産目録

(単位 円)

科 目	摘 要	金 額
一 資産額		
(一) 基本財産		7,640,886,286
1 土地	福岡市南区横手1-59他	2,785,563,894
2 建物	短期大学本館他	4,251,013,041
3 構築物	短期大学外構他	117,000,087
4 教育研究用機器備品	短期大学教研用機器備品他	133,790,408
5 図書	短期大学図書他	328,511,362
7 その他の有形固定資産	短期大学管理用機器備品他	21,977,147
8 その他の固定資産	教務システム他	3,030,347
(二) 運用財産		10,047,947,501
1 土地	福岡市南区塩原3-379他	527,587,553
2 学園拡充引当特定資産	学園拡充用資産	3,125,000,000
3 施設更新引当特定資産	既存施設建替資金	2,350,000,000
4 退職給与引当特定資産	退職金引当資金	474,599,946
5 第2号基本金引当特定資産		20,000,000
6 第3号基本金引当特定資産	学園奨学金基金	250,000,000
7 長期有価証券	長期投資用債券	166,535,557
8 現金預金	当座支払資金	3,018,313,127
9 未収入金	退職金財団交付金 他	101,575,213
10 その他の資産	出資金 他	14,336,105
資 産 合 計		17,688,833,787
二 負債額		
1 固定負債		474,599,946
(1) 退職給与引当金	期末要支給額	474,599,946
2 流動負債		365,765,078
(1) 未払金	共済掛金他	30,814,518
(2) 前受金	入学金、入園料他	269,060,220
(3) その他の流動負債	卒業積立金等預り金他	65,890,340
負 債 合 計		840,365,024
正味資産総額 (資産合計－負債合計)		16,848,468,763

(4) 決算額の推移

①資金収支計算書

(単位 千円)

収入の部					
科 目	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
学生生徒等納付金収入	1,318,647	1,298,459	1,193,555	1,126,926	986,558
手数料収入	14,048	12,875	12,395	10,636	9,972
寄付金収入	8,602	9,192	6,984	6,374	6,538
補助金収入	509,256	527,925	494,448	489,618	551,474
資産売却収入	200,000	703,424	92,179	409,623	9,124
付随事業・収益事業収入	53,321	67,244	76,978	76,154	69,609
受取利息・配当金収入	41,287	35,906	31,009	42,401	57,677
雑収入	120,716	109,994	21,920	37,973	97,786
借入金等収入	0	0	0	0	0
前受金収入	381,207	347,656	341,976	287,888	269,060
その他の収入	937,752	583,143	577,066	681,355	459,381
資金収入調整勘定	△ 499,589	△ 499,049	△ 375,447	△ 389,861	△ 389,463
前年度繰越支払資金	2,951,827	3,089,593	2,949,903	2,956,368	3,110,539
収入の部合計	6,037,078	6,286,367	5,422,967	5,735,459	5,238,260

支出の部					
科 目	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
人件費支出	1,192,118	1,158,886	1,053,569	1,089,834	1,130,994
教育研究経費支出	435,985	445,938	478,634	446,259	389,298
管理経費支出	128,843	124,693	129,809	126,962	115,997
借入金等利息支出	0	0	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0	0	0
施設関係支出	331,747	48,149	105,372	245,567	66,557
設備関係支出	59,277	44,415	55,914	36,842	22,053
資産運用支出	394,561	1,103,783	329,218	361,353	134,285
その他の支出	438,313	441,740	346,852	349,157	391,843
資金支出調整勘定	△ 33,362	△ 31,143	△ 32,769	△ 31,057	△ 31,082
翌年度繰越支払資金	3,089,593	2,949,903	2,956,368	3,110,539	3,018,313
支出の部合計	6,037,078	6,286,367	5,422,967	5,735,459	5,238,260

②活動区分資金収支計算書

(単位 千円)

	科 目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
教育活動	教育活動資金収入計	2,021,033	2,009,159	1,805,570	1,744,489	1,719,315
	教育活動資金支出計	1,756,673	1,729,515	1,661,701	1,662,640	1,633,032
	差引	264,359	279,643	143,869	81,849	86,282
	調整勘定等	△ 98,433	△ 25,259	75,779	△ 73,898	△ 81,752
	教育活動資金収支差額	165,926	254,384	219,648	7,950	4,530
施設整備等活動	施設整備等活動資金収入計	383,520	96,083	140,818	316,123	60,729
	施設整備等活動資金支出計	651,025	392,565	454,285	302,409	108,611
	差引	△ 267,505	△ 296,482	△ 313,468	13,713	△ 47,882
	調整勘定等	△ 11,961	△ 9,346	11,895	△ 658	571
	施設整備等活動資金収支差額	△ 276,466	△ 305,828	△ 301,573	13,054	△ 47,310
小計（教育活動+施設整備活動）		△ 113,540	△ 51,444	△ 81,925	21,005	△ 42,780
その他の活動	その他の活動資金収入計	646,123	1,122,941	442,295	792,662	420,193
	その他の活動資金支出計	533,735	1,211,186	352,160	658,322	469,600
	差引	112,388	△ 88,245	90,135	134,340	△ 49,406
	調整勘定等	138,918	0	△ 1,746	△ 1,175	△ 39
	その他の活動資金収支差額	251,306	△ 88,245	88,389	133,165	△ 49,445
支払資金の増減額		137,765	△ 139,689	6,465	154,170	△ 92,225
前年度繰越支払資金		2,951,827	3,089,593	2,949,903	2,956,368	3,110,539
翌年度繰越支払資金		3,089,593	2,949,903	2,956,368	3,110,539	3,018,313

③事業活動収支計算書

(単位 千円)

科目			令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
教育活動収支	収入	学生生徒等納付金	1,318,648	1,298,460	1,193,555	1,126,927	986,559
		手数料	14,048	12,876	12,395	10,636	9,973
		寄付金	8,602	9,243	6,984	6,375	6,538
		經常費等補助金	505,737	511,893	493,780	486,816	550,746
		付随事業収入	53,321	67,244	76,978	76,155	69,610
		雑収入	120,679	109,497	29,101	38,233	95,872
		教育活動収入計	2,021,035	2,009,212	1,812,793	1,745,142	1,719,298
	支出	人件費	1,206,666	1,168,000	1,057,652	1,075,102	1,141,675
		教育研究経費	688,327	699,508	732,374	702,879	658,711
		(内、減価償却額)	(252,647)	(253,398)	(253,672)	(256,485)	(269,298)
		管理経費	186,488	176,208	180,660	178,869	166,180
		(内、減価償却額)	(57,946)	(51,449)	(51,366)	(52,210)	(52,389)
		徴収不能額	0	0	0	0	0
		教育活動支出計	2,081,480	2,043,716	1,970,685	1,956,851	1,966,566
教育活動収支差額		▲60,445	▲34,504	▲157,892	▲211,709	▲247,269	
教育活動外収支	収入	受取利息・配当金	41,287	35,907	31,009	42,401	57,678
		その他の教育外収入	0	0	0	0	0
		教育活動外収入計	41,287	35,907	31,009	42,401	57,678
	支出	借入金等利息	0	0	0	0	0
		その他の教育外支出	0	0	0	0	317
		教育活動外支出計	0	0	0	0	317
	教育活動外収支差額		41,287	35,907	31,009	42,401	57,361
經常収支差額		▲19,158	1,403	▲126,884	▲169,308	▲189,908	
特別収支	収入	資産売却差額	0	1,916	450	91,989	0
		その他の特別収入	3,658	16,627	718	3,215	2,662
		特別収入計	3,658	18,543	1,168	95,205	2,662
	支出	資産処分差額	1,671	1,993	13,995	3,161	54,118
		その他の特別支出	273	11	311	417	2,941
		特別支出計	1,944	2,004	14,305	3,579	57,059
	特別収支差額		1,714	16,538	▲13,138	91,626	▲54,397
基本金組入前当年度収支差額		▲17,444	17,941	▲140,021	▲77,682	▲244,305	
基本金組入額合計		▲47,540	▲87,747	▲51,420	▲28,404	▲35,621	
当年度収支差額 (当年度消費収入(支出)超過額)		▲64,983	▲69,806	▲191,441	▲106,086	▲279,926	
前年度繰越収支差額		3,403,290	3,342,365	3,272,886	3,086,479	3,067,841	
基本金取崩額		4,058	327	5,034	87,448	28,682	
翌年度繰越収支差額		3,342,365	3,272,886	3,086,479	3,067,841	2,816,598	
(参考1)							
事業活動収入計			2,065,981	2,063,661	1,844,969	1,882,747	1,779,638
事業活動支出計			2,083,424	2,045,721	1,984,990	1,960,429	2,023,942
(参考2)							
經常収入計			2,062,322	2,045,119	1,843,801	1,787,543	1,776,975
經常支出計			2,081,480	2,043,716	1,970,685	1,956,851	1,966,883

④貸借対照表

(単位 千円)

資産の部					
科目	令和2年度 (令和3年3月31日)	令和3年度 (令和4年3月31日)	令和4年度 (令和5年3月31日)	令和5年度 (令和6年3月31日)	令和6年度 (令和7年3月31日)
固定資産	(15,048,056)	(15,156,149)	(15,095,129)	(14,780,769)	(14,557,834)
有形固定資産	< 8,780,448 >	< 8,573,704 >	< 8,430,570 >	< 8,403,859 >	< 8,165,443 >
土地	3,313,151	3,313,151	3,313,151	3,313,151	3,313,151
建物	4,753,486	4,561,383	4,345,342	4,437,518	4,251,013
構築物	192,852	178,248	157,685	137,127	117,000
教育研究用機器備品	162,683	165,694	171,086	156,458	133,790
管理用機器備品	19,162	16,410	16,859	14,508	13,404
図書	333,168	333,211	334,558	332,923	328,511
その他の有形固定資産	5,942	5,606	91,887	12,172	8,572
特定資産	< 6,178,324 >	< 6,407,437 >	< 6,557,601 >	< 6,248,919 >	< 6,219,599 >
学園拡充引当特定資産	3,125,000	3,125,000	3,125,000	3,125,000	3,125,000
施設更新引当特定資産	1,950,000	2,150,000	2,350,000	2,350,000	2,350,000
その他の引当特定資産	1,103,324	1,132,437	1,082,601	773,919	744,599
その他の固定資産	< 89,283 >	< 175,006 >	< 106,958 >	< 127,990 >	< 172,791 >
流動資産	(3,212,824)	(3,071,794)	(2,987,676)	(3,161,508)	(3,130,999)
現金預金	3,089,593	2,949,903	2,956,368	3,110,539	3,018,313
その他の流動資産	123,231	121,891	31,308	50,969	112,685
資産の部合計	18,260,881	18,227,944	18,082,806	17,942,278	17,688,833
負債の部					
科目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
固定負債	(473,548)	(482,558)	(479,318)	(463,919)	(474,599)
長期未払金	224	120	17	0	0
退職給与引当金	473,324	482,437	479,301	463,919	474,599
流動負債	(494,796)	(434,909)	(433,032)	(385,585)	(365,765)
未払金	33,267	31,220	32,604	30,806	30,814
前受金	381,207	347,656	341,975	287,888	269,060
その他の流動負債	80,321	56,031	58,452	66,891	65,890
負債の部合計	968,345	917,467	912,351	849,505	840,365
純資産の部					
科目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
基本金	(13,950,170)	(14,037,590)	(14,083,975)	(14,024,932)	(14,031,871)
第1号基本金	13,190,170	13,257,590	13,350,675	13,584,932	13,631,871
第2号基本金	380,000	400,000	353,300	60,000	20,000
第3号基本金	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000
第4号基本金	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000
繰越収支差額	(3,342,365)	(3,272,886)	(3,086,479)	(3,067,841)	(2,816,597)
翌年度繰越収支差額	3,342,365	3,272,886	3,086,479	3,067,841	2,816,597
純資産の部合計	17,292,535	17,310,476	17,170,454	17,092,773	16,848,468
負債及び純資産の部合計	18,260,881	18,227,944	18,082,806	17,942,278	17,688,833

⑤財務比率

【貸借対照表分析】

	分類	比率	計算式	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1	自己資金は充実されているか（純資産の部と総資産の比較）	純資産構成比率	純資産÷（総負債+純資産）	94.7%	95.0%	95.0%	95.3%	95.2%
		繰越収支差額構成比率	繰越収支差額÷（総負債+純資産）	18.3%	18.0%	17.1%	17.1%	15.9%
		基本金比率	基本金÷基本金要組入額	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
2	長期資金で固定資産は賄われているか	固定比率	固定資産÷純資産	87.0%	87.6%	87.9%	86.5%	86.4%
		固定長期適合率	固定資産÷（純資産+固定負債）	84.7%	85.2%	85.5%	84.2%	84.0%
3	資産構成はどうか	固定資産構成比率	固定資産÷総資産	82.4%	83.1%	83.5%	82.4%	82.3%
		有形固定資産構成比率	有形固定資産÷総資産	48.1%	47.0%	46.6%	46.8%	46.2%
		特定資産構成比率	特定資産÷総資産	33.8%	35.2%	36.3%	34.8%	35.2%
		減価償却比率	減価償却累計額÷減価償却資産取得価格	48.9%	51.3%	53.6%	54.5%	57.0%
4	負債に備える資産が蓄積されているか	内部留保資産比率	（運用資産－総負債）÷総資産	45.8%	47.2%	48.1%	48.1%	48.4%
		運用資産余裕比率	（運用資産－外部負債）÷経常支出	4.5	4.6	4.9	4.8	4.8
		流動比率	流動資産÷流動負債	649.3%	706.3%	689.9%	819.9%	856.0%
		前受金保有率	現金預金÷前受金	810.5%	848.5%	864.5%	1080.5%	1121.8%
		退職給与引当特定資産保有率	退職給与引当特定資産÷退職給付引当金	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
5	負債の割合はどうか	固定負債構成比率	固定負債÷（総負債+純資産）	2.6%	2.6%	2.7%	2.6%	2.7%
		流動負債構成比率	流動負債÷（総負債+純資産）	2.7%	2.4%	2.4%	2.1%	2.1%
		総負債比率	総負債÷総資産	5.3%	5.0%	5.0%	4.7%	4.8%
		負債比率	総負債÷純資産	5.6%	5.3%	5.0%	5.0%	5.0%
6	運用資産の保有状況はどうか	積立率	運用資産÷要積立額	155.0%	150.2%	146.8%	146.3%	139.6%

【事業活動収支分析】

	分類	比率	計算式	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1	経営状況はどうか	事業活動収支差額比率	基本金組入前当年度収支差額÷事業活動収入	-0.8%	0.9%	-7.6%	-4.1%	-13.7%
2	収入構成はどうか	学生生徒等納付金比率	学生生徒納付金÷経常収入	63.9%	63.5%	64.7%	63.0%	55.5%
		寄付金比率	寄付金÷事業活動収入	0.4%	0.5%	0.4%	0.3%	0.4%
		経常寄付金比率	教育活動収支の寄付金÷経常収入	0.4%	0.5%	0.4%	0.3%	0.4%
		補助金比率	補助金÷事業活動収入	24.6%	25.6%	26.8%	26.0%	31.0%
		経常費補助金比率	経常費等補助金÷経常収入	24.5%	25.0%	26.8%	27.2%	31.0%
3	支出構成は適切であるか	人件費率	人件費÷経常収入	58.5%	57.1%	57.4%	60.1%	64.2%
		教育研究経費比率	教育研究経費÷経常収入	33.4%	34.2%	39.7%	39.3%	37.1%
		管理経費比率	管理経費÷経常収入	9.0%	8.6%	9.8%	10.0%	9.4%
		借入金等利息比率	借入金等利息÷経常収入	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		基本金組入比率	基本金組入額÷事業活動収入	2.3%	4.3%	2.8%	1.5%	2.0%
		減価償却額比率	減価償却額÷経常支出	14.9%	14.9%	15.5%	15.8%	16.4%
4	収入と支出のバランスはとれているか	人件費依存率	人件費÷学生生徒納付金	91.5%	90.0%	88.6%	95.4%	115.7%
		基本金組入後収支比率	事業活動支出÷（事業活動収入－基本金組入額）	103.3%	103.5%	109.9%	105.7%	111.5%
		経常収支差額比率	経常収支差額÷経常収入	-0.9%	0.1%	-6.9%	-9.5%	-10.7%
		教育活動収支差額比率	教育活動収支差額÷教育活動収入計	-3.0%	-1.7%	-8.7%	-12.1%	-14.4%

【活動区分資金収支分析】

	分類	比率	計算式	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1	教育活動でキャッシュフローが生み出せているか	教育活動資金収支差額比率	教育活動資金収支差額÷教育活動資金収入計	8.2%	12.7%	12.2%	0.5%	0.3%

(5) 経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策

① 経営状況の分析

日本私立学校振興共済事業団から出されている、「定量的な経営判断指標に基づく経営状態の区分」を使用して、学校法人山内学園の経営成績・財政状態を診断すると、B0（イエローゾーンの予備的段階）に位置する。これは、教育活動資金収支差額（教育のキャッシュフロー）は黒字で、貸借対照表上の運用資産と外部負債のバランスは学校経営を行う上で問題がない水準であるが、事業活動収支計算書の経常収支が継続的な赤字に陥っている状況にある。赤字の原因は主として、香蘭女子短期大学の学生募集の状況が芳しくなく、定員充足率を満たせないことが要因である。

② 経営上の成果と課題

令和3年度より、中長期計画を策定し、4年目の計画年度となった。計画では学生・園児募集に力を入れ、収入を確保し、経費を圧縮することで経常収支の黒字化を目指すこととなっていたが、令和6年度は、香蘭女子短期大学部門、香蘭ファッションデザイン専門学校部門で赤字となった。特に、香蘭女子短期大学では入学者数が令和3年度より、每期減少しており、令和6年度も一層厳しい状況となっている。香蘭女子短期大学部門は、令和6年度の高等教育の修学支援の機関要件変更に対応して収容定員数の減員を決定し、令和6年度より入学定員数を460人から350人に減員した。また、那珂川第二幼稚園については令和6年度、私学助成園から施設型給付に移行した。

今後の課題は、少子化の進行により、学生・園児数の総数が減少する中、選ばれる学校として、存続していくことである。

③ 今後の方針・対応方策

学生募集をより、効果的に行うことと並行して、各種補助金の獲得・寄付金の募集・投資による資産運用収入の増加を目指していく。また、予算執行の厳正化を図り、経費の削減に努める。

(6) 監査報告書

監 査 報 告 書

令和 7 年 5 月 24 日

学校法人 山内学園

理事長 坂 根 康 秀 殿

学校法人 山内学園

監事 武部 道 孝

監事 矢ノ浦 慎祐

私たち監事は、私立学校法第 37 条 3 項及び学校法人山内学園寄附行為第 14 条の定めに基づき、令和6年度(令和6年 4 月 1 日から令和7年 3 月 31 日まで)の学校法人山内学園の業務執行状況、財産の状況及び、理事の職務の執行状況を監査いたしました。その結果を次のとおり報告致します。

1. 監査内容

監事は、理事会その他重要な会議に出席し、理事から業務の執行状況を聴取し、重要書類等を閲覧し、関係部所において業務及び財産の状況を調査する等の方法で監査し、また、公認会計士(監査法人 北三会計社)と連携し、計算書類について協議しました。

2. 監査結果

(1) 学校法人の業務若しくは財産状況又は理事の業務執行の状況は、事業計画及び予算に沿い適切に遂行されており、不正の行為或いは法令及び寄附行為に違反する事実は認められません。

(2) 資金収支計算書、活動区分資金収支計算書、事業活動収支計算書、及び貸借対照表(付属内訳表を含む)並びに財産目録は、法令及び寄附行為に従い、本学園の財産及び経営の状況を正しく示しているものと認めます。

以 上